

修正後（委員会後）

修正前（委員会時）

<本編（水質）>

<本編（水質）>

布目ダム定期報告書(R4)

5章 水質

布目ダム定期報告書(R4)

5章 水質

副ダムの流入地点と放流地点(副ダム表層)の水質比較による負荷削減量は、水質と流量の関係と日々の流量から算出した副ダムの流入負荷量と放流負荷量の差から算定した。

副ダムの流入地点と放流地点(副ダム表層)の水質比較による負荷削減量は、水質と流量の関係と日々の流量から算出した副ダムの流入負荷量と放流負荷量の差から算定した。

水質と流量の関係の解析に用いたデータは、副ダム流入水質を流入河川(布目川)および流入河川(深川)の水質、副ダム放流水質を副ダム表層の水質とし、平成29年から令和3年までの定期調査(12回/年)に加えて平成30年、令和元年に実施した出水時水質調査とし、流量は、布目ダム日平均流入量を布目川と深川の面積で按分した。なお、平成30年の出水時調査の流量はダム管理データ(10分毎)を使用した。

水質と流量の関係の解析に用いたデータは、副ダム流入水質を流入河川(布目川)および流入河川(深川)の水質、副ダム放流水質を副ダム表層の水質とし、平成29年から令和3年までの定期調査(12回/年)に加えて平成30年、令和元年に実施した出水時水質調査とし、流量は、布目ダム日平均流入量を布目川と深川の面積で按分した。なお、平成30年の出水時調査の流量はダム管理データ(10分毎)を使用した。

副ダム流入水と放流水の水質(C)と流量(Q)の関係式(C~Q式)を図5.6.3-3に示す。

副ダム流入水と放流水の水質(C)と流量(Q)の関係式(C~Q式)を図5.6.3-3に示す。

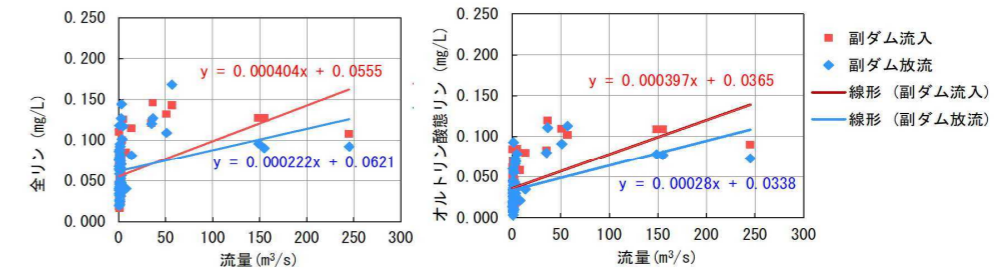
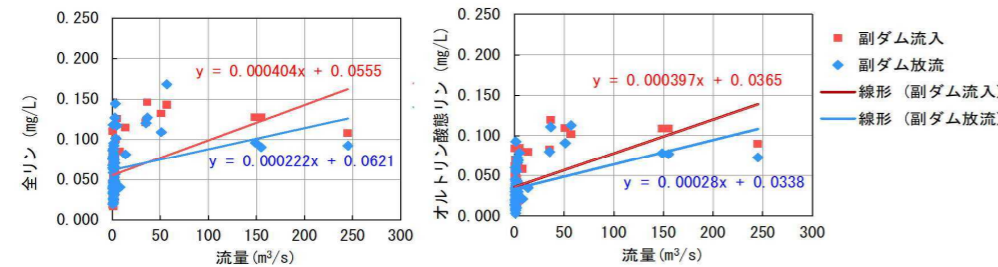


図 5.6.3-3 副ダム流入水と副ダム放流水とのリン水質と流量の関係図
(全リン(T-P)、オルトリン酸態リン(PO₄-P))

図 5.6.3-3 副ダム流入水と副ダム放流水とのリン水質と流量の関係図
(全リン(T-P)、オルトリン酸態リン(PO₄-P))

上記の水質と流量の関係式(C~Q式)と至近5ヶ年の日平均ダム流入量を用いて、副ダム流入地点と放流地点のリン水質を推定した。このリン水質に流量を乗じて副ダム流入負荷量、放流負荷量を算定した。この差分が副ダムによるリン負荷削減量で、算定結果を表5.6.3-4に示す。

上記の水質と流量の関係式(C~Q式)と至近5ヶ年の日平均ダム流入量を用いて、副ダム流入地点と放流地点のリン水質を推定した。このリン水質に流量を乗じて副ダム流入負荷量、放流負荷量を算定した。この差分が副ダムによるリン負荷削減量で、算定結果を表5.6.3-4に示す。

副ダムにおける至近5ヶ年のリン負荷削減効果は、全リン(T-P)0.38t/年、オルトリン酸態リン(PO₄-P)0.28t/年、削減率は、全リン(T-P)8.4%、オルトリン酸態リン(PO₄-P)9.2%と推定された。

副ダムにおける至近5ヶ年のリン負荷削減効果は、全リン(T-P)0.38t/年、オルトリン酸態リン(PO₄-P)0.28t/年、削減率は、全リン(T-P)8.4%、オルトリン酸態リン(PO₄-P)9.2%と推定された。

表 5.6.3-4 副ダムのリンの流入・放流負荷量と負荷削減量(平成29年~令和3年の平均)

項目	副ダム流入負荷量 (t/年)	副ダム放流負荷量 (t/年)	負荷削減量 (t/年)	負荷削減率 (%)
全リン(T-P)	4.52	4.14	0.38	8.4
オルトリン酸態リン(PO ₄ -P)	3.06	2.77	0.28	9.2

表 5.6.3-4 副ダムのリンの流入・放流負荷量と負荷削減量(平成29年~令和3年の平均)

項目	副ダム流入負荷量 (t/年)	副ダム放流負荷量 (t/年)	負荷削減量 (t/年)	負荷削減率 (%)
全リン(T-P)	4.52	4.14	0.38	8.4
オルトリン酸態リン(PO ₄ -P)	3.06	2.77	0.28	9.2

なお、副ダムの効果については、ある仮定のもとでの計算結果であり、過大評価している可能性もあることから、引き続き検討していくこととしている。

なお、副ダムの効果については、ある仮定のもとでの計算結果であり、過大評価している可能性もあることから、引き続き検討していくこととしている。

副ダムの水質と流量の関係についてはデータ数も少なく、オルトリン酸態リンの濃度と流量の流入関係式と放流関係式の精度を高めるため、水質調査を継続していく。

修正後（委員会後）

修正前（委員会時）

<本編（水質）>

<本編（水質）>

布目ダム定期報告書(R4)

5章 水質

布目ダム定期報告書(R4)

5章 水質

2) 溶存酸素(DO)

深層曝気設備の運用は、中層から底層にかけて DO 値上昇の効果を示しており、底層部の貧酸素化による栄養塩の溶出および硫化水素発生を抑制に寄与している。

至近 5 ヶ年の貯水池基準地点(網場)底層の溶存酸素(DO)をみると、夏季から秋季に貧酸素化することがあるが、その頻度はダムサイト近傍に複合型散気設備を設置する以前よりも大幅に減少していた。

浅層循環(散気循環)設備と深層曝気(複合型散気)設備へは、図 5.6.1-3(P5-192)に示すように同じコンプレッサーから空気を供給している。布目ダム貯水池では、平成 28 年まで毎年のようにカビ臭が発生したことから、近 5 ヶ年はカビ臭対策として浅層循環(散気循環)設備への空気供給量を多くしたため、低層の DO が少ない状態が生じたものと考えられる。

今後、浅層循環(散気循環)設備と深層曝気(複合型散気)設備の空気供給量の配分バランスについて、検討していく。

2) 溶存酸素(DO)

深層曝気設備の運用は、中層から底層にかけて DO 値上昇の効果を示しており、底層部の貧酸素化による栄養塩の溶出および硫化水素発生を抑制に寄与している。

至近 5 ヶ年の貯水池基準地点(網場)底層の溶存酸素(DO)をみると、夏季から秋季に貧酸素化することがあるが、その頻度はダムサイト近傍に複合型散気設備を設置する以前よりも大幅に減少していた。

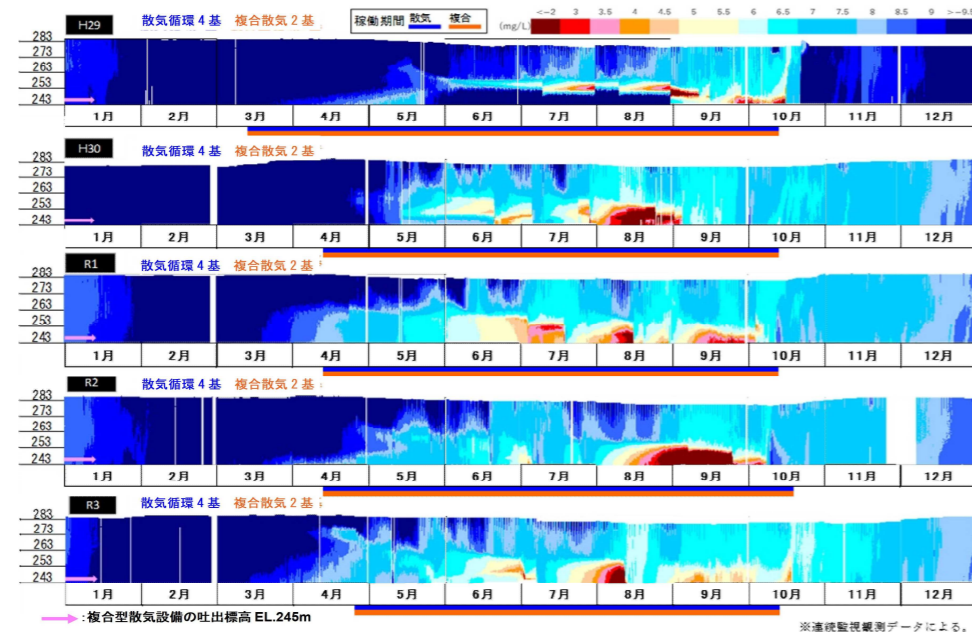


図 5.6.3-6 貯水池(基準地点)における DO 鉛直分布(平成 29 年～令和 3 年)

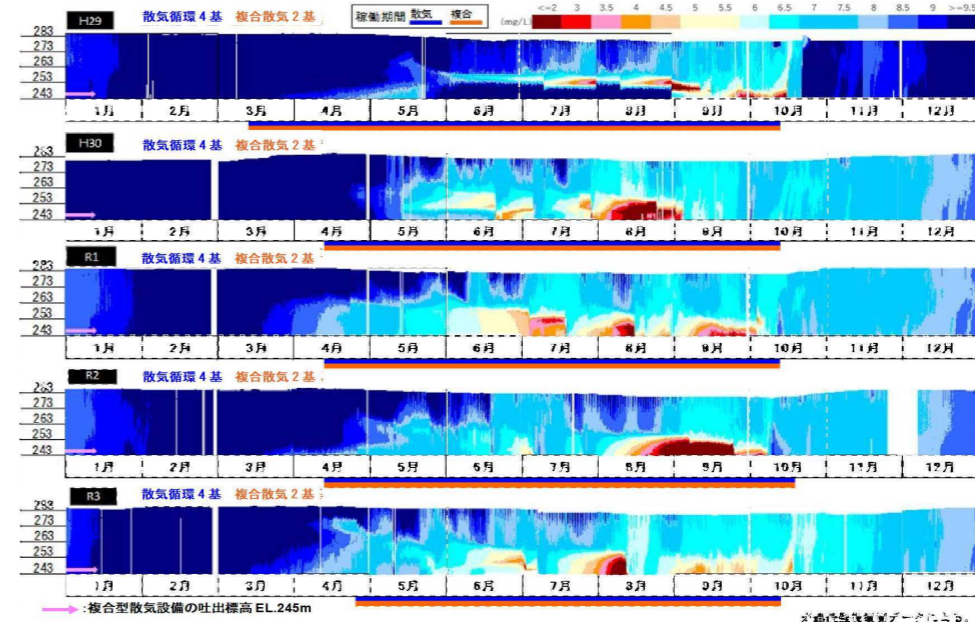


図 5.6.3-6 貯水池(基準地点)における DO 鉛直分布(平成 29 年～令和 3 年)

布目ダム定期報告書（案）修正前後対照表

修正後（委員会後）					修正前（委員会時）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>2) 重要種</p> <p>重要種の経年確認状況を表 6.2-18～表 6.2-20 に示す。</p> <p>これまでの5回の調査により両生類8種、爬虫類10種、哺乳類5種の重要種が確認されている。両生類ではアカハライモリ、ニホンヒキガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルが、爬虫類ではアオダイショウ、ジムグリ、シロマダラ、ヒバカリ、ヤマカガシが平成6年度調査から継続して確認されている。令和3年度（最新）の調査では、両生類7種、爬虫類9種、哺乳類4種が確認されており、両生類ではモリアオガエル、哺乳類ではニホンコキクガシラコウモリ、キクガシラコウモリが新たに確認されている。</p> <p style="text-align:center">表 6.2-18 両生類重要種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">目名</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="4">重要種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>文化財 保護法</th> <th>種の保 存法</th> <th>環境省 RL</th> <th>奈良県 RL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>有尾目</td> <td>イモリ科</td> <td>アカハライモリ</td> <td><i>Cynops pyrrhogaster</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>無尾目</td> <td>ヒキガエル科</td> <td>ニホンヒキガエル</td> <td><i>Bufo japonicus japonicus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危惧</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>アカガエル科</td> <td>ニホンアカガエル</td> <td><i>Rana japonica</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危惧</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>ヤマアカガエル</td> <td><i>Rana ornativentris</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>トノサマガエル</td> <td><i>Pelophylax nigromaculatus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>ツチガエル</td> <td><i>Glandisoma rugosa</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>シュレーゲルアオガエル</td> <td><i>Zhangixalus schlegelii</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>アオガエル科</td> <td>モリアオガエル</td> <td><i>Rhacophorus arboreus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>寸前</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2目</td> <td>4科</td> <td>8種</td> <td></td> <td>6種</td> <td>6種</td> <td>7種</td> <td>6種</td> <td>7種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>2種</td> <td>6種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 重要種の選定基準 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ② 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ③ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p>					No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準				H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL	1	有尾目	イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	●	●	●	●	●						2	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i>	●	●	●	●	●					危惧	3		アカガエル科	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●	●	●	●					危惧	4			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	●	●	●	●	●					希少	5			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	●	●	●	●	●				NT		6			ツチガエル	<i>Glandisoma rugosa</i>	●	●	●	●	●					希少	7			シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●	●	●	●	●					希少	8		アオガエル科	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>	●	●	●	●	●					寸前	計	2目	4科	8種		6種	6種	7種	6種	7種	0種	0種	2種	6種		<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>2) 重要種</p> <p>重要種の経年確認状況を表 6.2-18～表 6.2-20 に示す。</p> <p>これまでの5回の調査により両生類8種、爬虫類10種、哺乳類7種の重要種が確認されている。両生類ではアカハライモリ、ニホンヒキガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルが、爬虫類ではアオダイショウ、ジムグリ、シロマダラ、ヒバカリ、ヤマカガシが平成6年度調査から継続して確認されている。令和3年度（最新）の調査では、両生類7種、爬虫類9種、哺乳類6種が確認されており、両生類ではモリアオガエル、哺乳類ではニホンコキクガシラコウモリ、キクガシラコウモリが新たに確認されている。</p> <p style="text-align:center">表 6.2-18 両生類重要種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">目名</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="4">重要種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>文化財 保護法</th> <th>種の保 存法</th> <th>環境省 RL</th> <th>奈良県 RL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>有尾目</td> <td>イモリ科</td> <td>アカハライモリ</td> <td><i>Cynops pyrrhogaster</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>無尾目</td> <td>ヒキガエル科</td> <td>ニホンヒキガエル</td> <td><i>Bufo japonicus japonicus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危惧</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>アカガエル科</td> <td>ニホンアカガエル</td> <td><i>Rana japonica</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危惧</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>ヤマアカガエル</td> <td><i>Rana ornativentris</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>トノサマガエル</td> <td><i>Pelophylax nigromaculatus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>ツチガエル</td> <td><i>Glandisoma rugosa</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>シュレーゲルアオガエル</td> <td><i>Zhangixalus schlegelii</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>アオガエル科</td> <td>モリアオガエル</td> <td><i>Rhacophorus arboreus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>寸前</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2目</td> <td>4科</td> <td>8種</td> <td></td> <td>6種</td> <td>6種</td> <td>7種</td> <td>6種</td> <td>7種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>2種</td> <td>6種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 重要種の選定基準 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ② 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ③ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p>					No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準				H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL	1	有尾目	イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	●	●	●	●	●						2	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i>	●	●	●	●	●					危惧	3		アカガエル科	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●	●	●	●					危惧	4			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	●	●	●	●	●					希少	5			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	●	●	●	●	●				NT		6			ツチガエル	<i>Glandisoma rugosa</i>	●	●	●	●	●					希少	7			シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●	●	●	●	●					希少	8		アオガエル科	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>	●	●	●	●	●					寸前	計	2目	4科	8種		6種	6種	7種	6種	7種	0種	0種	2種	6種																																																													
No	目名	科名	和名	学名						調査年度					重要種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	有尾目	イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i>	●	●	●	●	●					危惧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
3		アカガエル科	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●	●	●	●					危惧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
5			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	●	●	●	●	●				NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6			ツチガエル	<i>Glandisoma rugosa</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7			シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8		アオガエル科	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>	●	●	●	●	●					寸前																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
計	2目	4科	8種		6種	6種	7種	6種	7種	0種	0種	2種	6種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	有尾目	イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i>	●	●	●	●	●					危惧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
3		アカガエル科	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●	●	●	●					危惧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
5			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	●	●	●	●	●				NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6			ツチガエル	<i>Glandisoma rugosa</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7			シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8		アオガエル科	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>	●	●	●	●	●					寸前																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
計	2目	4科	8種		6種	6種	7種	6種	7種	0種	0種	2種	6種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p style="text-align:center">表 6.2-19 爬虫類重要種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">目名</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="4">重要種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>文化財 保護法</th> <th>種の保 存法</th> <th>環境省 RL</th> <th>奈良県 RL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>カメ目</td> <td>イシガメ科</td> <td>ニホンイシガメ</td> <td><i>Mauremys japonica</i></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危惧</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>クサガメ</td> <td><i>Mauremys reevesii</i></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>有鱗目</td> <td>ヤモリ科</td> <td>ニホンヤモリ</td> <td><i>Gekko japonicus</i></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>注目</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>タカチホヘビ科</td> <td>タカチホヘビ</td> <td><i>Achalinus spinalis</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>ナミヘビ科</td> <td>アオダイショウ</td> <td><i>Elaphe climacophora</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>ジムグリ</td> <td><i>Euprepiophis conspicillatus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>シロマダラ</td> <td><i>Diosodon orientale</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>ヒバカリ</td> <td><i>Hebius vibakari vibakari</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td>ヤマカガシ</td> <td><i>Rhabdophis tigrinus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td>クサリヘビ科</td> <td>ニホンマムシ</td> <td><i>Gloydyus blomhoffii</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2目</td> <td>5科</td> <td>10種</td> <td></td> <td>7種</td> <td>8種</td> <td>8種</td> <td>8種</td> <td>9種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>1種</td> <td>10種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 重要種の選定基準 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ② 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ③ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p>					No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準				H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL	1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>		●	●	●	●					危惧	2			クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>		●	●	●	●					不足	3	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>		●	●	●	●					注目	4		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	●	●	●	●	●					不足	5		ナミヘビ科	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	●	●	●	●	●					希少	6			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	●	●	●	●	●					不足	7			シロマダラ	<i>Diosodon orientale</i>	●	●	●	●	●					不足	8			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	●	●	●	●	●					不足	9			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●	●	●	●	●					希少	10		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydyus blomhoffii</i>	●	●	●	●	●					希少	計	2目	5科	10種		7種	8種	8種	8種	9種	0種	0種	1種	10種		<p style="text-align:center">表 6.2-19 爬虫類重要種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">目名</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="4">重要種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>文化財 保護法</th> <th>種の保 存法</th> <th>環境省 RL</th> <th>奈良県 RL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>カメ目</td> <td>イシガメ科</td> <td>ニホンイシガメ</td> <td><i>Mauremys japonica</i></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危惧</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>クサガメ</td> <td><i>Mauremys reevesii</i></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>有鱗目</td> <td>ヤモリ科</td> <td>ニホンヤモリ</td> <td><i>Gekko japonicus</i></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>注目</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>タカチホヘビ科</td> <td>タカチホヘビ</td> <td><i>Achalinus spinalis</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>ナミヘビ科</td> <td>アオダイショウ</td> <td><i>Elaphe climacophora</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>ジムグリ</td> <td><i>Euprepiophis conspicillatus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>シロマダラ</td> <td><i>Diosodon orientale</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>ヒバカリ</td> <td><i>Hebius vibakari vibakari</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不足</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td>ヤマカガシ</td> <td><i>Rhabdophis tigrinus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td>クサリヘビ科</td> <td>ニホンマムシ</td> <td><i>Gloydyus blomhoffii</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2目</td> <td>5科</td> <td>10種</td> <td></td> <td>7種</td> <td>8種</td> <td>8種</td> <td>8種</td> <td>9種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>1種</td> <td>10種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 重要種の選定基準 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ② 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ③ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p>					No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準				H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL	1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>		●	●	●	●					危惧	2			クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>		●	●	●	●					不足	3	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>		●	●	●	●					注目	4		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	●	●	●	●	●					不足	5		ナミヘビ科	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	●	●	●	●	●					希少	6			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	●	●	●	●	●					不足	7			シロマダラ	<i>Diosodon orientale</i>	●	●	●	●	●					不足	8			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	●	●	●	●	●					不足	9			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●	●	●	●	●					希少	10		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydyus blomhoffii</i>	●	●	●	●	●					希少	計	2目	5科	10種		7種	8種	8種	8種	9種	0種	0種	1種	10種	
No	目名	科名	和名	学名						調査年度					重要種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>		●	●	●	●					危惧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
2			クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>		●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
3	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>		●	●	●	●					注目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
5		ナミヘビ科	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
6			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7			シロマダラ	<i>Diosodon orientale</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
9			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydyus blomhoffii</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
計	2目	5科	10種		7種	8種	8種	8種	9種	0種	0種	1種	10種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>		●	●	●	●					危惧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
2			クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>		●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
3	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>		●	●	●	●					注目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
5		ナミヘビ科	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
6			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7			シロマダラ	<i>Diosodon orientale</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	●	●	●	●	●					不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
9			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydyus blomhoffii</i>	●	●	●	●	●					希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
計	2目	5科	10種		7種	8種	8種	8種	9種	0種	0種	1種	10種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

修正後（委員会後）

<本編（生物）>

布目ダム定期報告書(R4)

6章 生物

表 6.2-20 哺乳類重要種の経年確認状況

No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準				
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL	
1	コウモリ目(翼手目)	キツガシラコウモリ科	ニホンコキツガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus cornutus</i>						●				希少
2		キツガシラコウモリ科	キツガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>						●				希少
3		ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>				●						希少
4	サル目(霊長目)	オナガザル科	ホンドザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	○	○	○	○	○					LP
5	ネズミ目(齧歯目)	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	○	○	○	○	○					LP
6	ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	●	●								希少
7	ネコ目(食肉目)	イタチ科	ホンドイタチ	<i>Mustela itati itati</i>				●						希少
計	4目	6科	5種		1種	1種	0種	2種	4種	0種	0種	2種	5種	

※ホンドザルは北奥羽・北上山系、金華山、房総半島の地域個体群、ニホンリスは九州、中国地方の地域個体群が対象であるため、重要種には計上していない。

注1) 重要種の選定基準

- ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号）
特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物
- ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号）
国内：国内希少野生動植物種
- ③ 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ④ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課）
絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種
不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種

修正前（委員会時）

<本編（生物）>

布目ダム定期報告書(R4)

6章 生物

表 6.2-20 哺乳類重要種の経年確認状況

No	目名	科名	和名	学名	調査年度					重要種選定基準				
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	文化財 保護法	種の保 存法	環境省 RL	奈良県 RL	
1	コウモリ目(翼手目)	キツガシラコウモリ科	ニホンコキツガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus cornutus</i>						●				希少
2		キツガシラコウモリ科	キツガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>						●				希少
3		ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>				●						希少
4	サル目(霊長目)	オナガザル科	ホンドザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>				●						LP
5	ネズミ目(齧歯目)	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>				●						LP
6	ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	●	●								希少
計	3目	5科	5種		2種	2種	2種	3種	6種	0種	0種	2種	4種	

注1) 重要種の選定基準

- ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号）
特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物
- ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号）
国内：国内希少野生動植物種
- ③ 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ④ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課）
絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種
不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種

布目ダム定期報告書（案）修正前後対照表

修正後（委員会後）					修正前（委員会時）																																																																																																																																																																																								
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書（R4）</p> <p>6章 生物</p> <p>3) 外来種</p> <p>外来種の経年確認状況を表 6.2-21～表 6.2-23 に示す。</p> <p>これまでの5回の調査により、両生類ではウシガエルの1種、爬虫類ではミシシッピアカミミガメの1種、哺乳類ではアライグマ、ハクビシンの2種が確認されている。ウシガエル、ミシシッピアカミミガメは平成5年度から令和3年度まで経年的に確認されている。アライグマ、ハクビシンは平成23年、令和3年で確認されている。</p> <p>表 6.2-21 両生類外来種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">綱</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来 生物法</th> <th>生態系 被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>両生綱</td> <td>アカガエル科</td> <td>ウシガエル</td> <td><i>Lithobates catesbeianus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>特定</td> <td>重点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1綱</td> <td>1科</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 外来種の選定基準 ①「外来生物法」:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号)の掲載種 特定: 特定外来生物 ②「生態系被害防止」:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年3月 環境省及び農林水産省)の掲載種 定着: 定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合: 総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業: 産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p> <p>表 6.2-22 爬虫類外来種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">綱</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来 生物法</th> <th>生態系 被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>爬虫綱</td> <td>ヌマガメ科</td> <td>ミシシッピアカミミガメ</td> <td><i>Trachemys scripta elegans</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>緊急</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1綱</td> <td>1科</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>0種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 外来種の選定基準 ①「外来生物法」:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号)の掲載種 特定: 特定外来生物 ②「生態系被害防止」:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年3月 環境省及び農林水産省)の掲載種 定着: 定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合: 総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業: 産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p>					No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準		H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止	1	両生綱	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	●	●	●	●	●	●	特定	重点	計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準		H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止	1	爬虫綱	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	●	●	●	●	●	●	緊急	緊急	計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	0種	1種	1種	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書（R4）</p> <p>6章 生物</p> <p>3) 外来種</p> <p>外来種の経年確認状況を表 6.2-21～表 6.2-23 に示す。</p> <p>これまでの5回の調査により、両生類ではウシガエルの1種、爬虫類ではミシシッピアカミミガメの1種、哺乳類ではアライグマ、ハクビシン、ノネコの3種が確認されている。ウシガエル、ミシシッピアカミミガメは平成5年度から令和3年度まで経年的に確認されている。アライグマ、ハクビシンは平成23年、令和3年で確認されている。令和3年度（最新）では哺乳類のノネコが新たに確認されている。</p> <p>表 6.2-21 両生類外来種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">綱</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来 生物法</th> <th>生態系 被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>両生綱</td> <td>アカガエル科</td> <td>ウシガエル</td> <td><i>Lithobates catesbeianus</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>特定</td> <td>重点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1綱</td> <td>1科</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 外来種の選定基準 ①「外来生物法」:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号)の掲載種 特定: 特定外来生物 ②「生態系被害防止」:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年3月 環境省及び農林水産省)の掲載種 定着: 定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合: 総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業: 産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p> <p>表 6.2-22 爬虫類外来種の経年確認状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">綱</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来 生物法</th> <th>生態系 被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>爬虫綱</td> <td>ヌマガメ科</td> <td>ミシシッピアカミミガメ</td> <td><i>Trachemys scripta elegans</i></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>緊急</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1綱</td> <td>1科</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> <td>0種</td> <td>1種</td> <td>1種</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 外来種の選定基準 ①「外来生物法」:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号)の掲載種 特定: 特定外来生物 ②「生態系被害防止」:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年3月 環境省及び農林水産省)の掲載種 定着: 定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合: 総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業: 産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p>					No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準		H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止	1	両生綱	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	●	●	●	●	●	●	特定	重点	計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準		H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止	1	爬虫綱	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	●	●	●	●	●	●	緊急	緊急	計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	0種	1種	1種
No	綱	科名	和名	学名						調査年度					外来種選定基準																																																																																																																																																																														
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止																																																																																																																																																																																		
1	両生綱	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	●	●	●	●	●	●	特定	重点																																																																																																																																																																																	
計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種																																																																																																																																																																																	
No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準																																																																																																																																																																																			
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止																																																																																																																																																																																		
1	爬虫綱	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	●	●	●	●	●	●	緊急	緊急																																																																																																																																																																																	
計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	0種	1種	1種																																																																																																																																																																																	
No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準																																																																																																																																																																																			
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止																																																																																																																																																																																		
1	両生綱	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	●	●	●	●	●	●	特定	重点																																																																																																																																																																																	
計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種																																																																																																																																																																																	
No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準																																																																																																																																																																																			
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止																																																																																																																																																																																		
1	爬虫綱	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	●	●	●	●	●	●	緊急	緊急																																																																																																																																																																																	
計	1綱	1科	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	0種	1種	1種																																																																																																																																																																																	
6-63					6-63																																																																																																																																																																																								

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）																																																																																																																																						
<p><本編（生物）></p> <p style="text-align: center;">布目ダム定期報告書（R4） 6章 生物</p> <p style="text-align: center;">表 6.2-23 哺乳類外来種の経年確認状況</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">綱</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来 生物法</th> <th>生態系 被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>哺乳綱</td> <td>アライグマ科</td> <td>アライグマ</td> <td><i>Procyon lotor</i></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>特定</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>シヤクワネコ科</td> <td>ハクビシン</td> <td><i>Paguma larvata</i></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>重点</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>ネコ科</td> <td>ノネコ</td> <td><i>Felis catus</i></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>緊急</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1綱</td> <td>3科</td> <td>3種</td> <td>3種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>2種</td> <td>2種</td> <td>1種</td> <td>3種</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red; font-size: small;">※ノネコは飼育放棄された個体の確認の可能性が高いため、外来種には計上しないこととした。</p> <p>注) 外来種の選定基準 ①「外来生物法」:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号)の掲載種 特定: 特定外来生物 ②「生態系被害防止」:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年3月 環境省及び農林水産省)の掲載種 定着: 定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合: 総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業: 産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p>	No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準		H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止	1	哺乳綱	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				●	●	特定	緊急	2		シヤクワネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>				●	●	重点	緊急	3		ネコ科	ノネコ	<i>Felis catus</i>				○		緊急	緊急	計	1綱	3科	3種	3種	0種	0種	0種	2種	2種	1種	3種	<p><本編（生物）></p> <p style="text-align: center;">布目ダム定期報告書（R4） 6章 生物</p> <p style="text-align: center;">表 6.2-23 哺乳類外来種の経年確認状況</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">綱</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th rowspan="2">学名</th> <th colspan="5">調査年度</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>H5 (1993)</th> <th>H10 (1998)</th> <th>H15 (2003)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来 生物法</th> <th>生態系 被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>哺乳綱</td> <td>アライグマ科</td> <td>アライグマ</td> <td><i>Procyon lotor</i></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>特定</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>シヤクワネコ科</td> <td>ハクビシン</td> <td><i>Paguma larvata</i></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>重点</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>ネコ科</td> <td>ノネコ</td> <td><i>Felis catus</i></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>緊急</td> <td>緊急</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1綱</td> <td>3科</td> <td>3種</td> <td>3種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>0種</td> <td>2種</td> <td>2種</td> <td>1種</td> <td>3種</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 外来種の選定基準 ①「外来生物法」:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号)の掲載種 特定: 特定外来生物 ②「生態系被害防止」:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年3月 環境省及び農林水産省)の掲載種 定着: 定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合: 総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業: 産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p>	No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準		H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止	1	哺乳綱	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				●	●	特定	緊急	2		シヤクワネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>				●	●	重点	緊急	3		ネコ科	ノネコ	<i>Felis catus</i>				○		緊急	緊急	計	1綱	3科	3種	3種	0種	0種	0種	2種	2種	1種	3種
No						綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準																																																																																																																								
	H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)					外来 生物法	生態系 被害防止																																																																																																																												
1	哺乳綱	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				●	●	特定	緊急																																																																																																																												
2		シヤクワネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>				●	●	重点	緊急																																																																																																																												
3		ネコ科	ノネコ	<i>Felis catus</i>				○		緊急	緊急																																																																																																																												
計	1綱	3科	3種	3種	0種	0種	0種	2種	2種	1種	3種																																																																																																																												
No	綱	科名	和名	学名	調査年度					外来種選定基準																																																																																																																													
					H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H23 (2011)	R3 (2021)	外来 生物法	生態系 被害防止																																																																																																																												
1	哺乳綱	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				●	●	特定	緊急																																																																																																																												
2		シヤクワネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>				●	●	重点	緊急																																																																																																																												
3		ネコ科	ノネコ	<i>Felis catus</i>				○		緊急	緊急																																																																																																																												
計	1綱	3科	3種	3種	0種	0種	0種	2種	2種	1種	3種																																																																																																																												

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>6.3.3 重要種の変化の把握</p> <p>(1) ダムの管理・運用と関わりの深い重要種の選定</p> <p>ダムの管理・運用と関わりの深い重要種の選定条件を表 6.3-31 に示す。</p> <p>布目ダムの存在・供用に伴う環境条件の変化、布目ダムの特性（立地条件、経過年数）及び既往定期報告書等から、重要種について、ダムの管理・運用に伴い、影響を受けるおそれのある生物種の選定を行った。</p> <p>ダムの管理・運用と関わりの深い重要種の選定にあたっては、以下に示す指定ランクに基づき重要種の抽出を行うとともに、表 6.3-31 に示す4つの選定条件を踏まえて、ダムの管理・運用と関わりの深い重要種の選定を行った。</p> <p><指定ランク></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「文化財保護法、地方公共団体における条例」で指定された特別天然記念物、天然記念物 ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種 ③「環境省レッドリスト2020」（環境省、令和2年3月）の掲載種（「準絶滅危惧（NT）」以上） ④「大切にしたい奈良県の野生動植物－奈良県版レッドデータブック2016改訂版」（奈良県 H28）の掲載種 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>※P6-217～6-250については、 「ダムと関わりの深い重要種」を「ダム管理・運用と関わりの深い重要種」に 本文及び表のタイトルを修正する。</p> </div> <p style="text-align: center;">6-217</p>	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>6.3.3 重要種の変化の把握</p> <p>(1) ダムと関わりの深い重要種の選定</p> <p>ダムと関わりの深い重要種の選定条件を表 6.3-31 に示す。</p> <p>布目ダムの存在・供用に伴う環境条件の変化、布目ダムの特性（立地条件、経過年数）及び既往定期報告書等から、重要種について、ダムの運用・管理に伴い、影響を受けるおそれのある生物種の選定を行った。</p> <p>ダムと関わりの深い重要種の選定にあたっては、以下に示す指定ランクに基づき重要種の抽出を行うとともに、表 6.3-31 に示す4つの選定条件を踏まえて、ダムと関わりの深い重要種の選定を行った。</p> <p><指定ランク></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「文化財保護法、地方公共団体における条例」で指定された特別天然記念物、天然記念物 ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種 ③「環境省レッドリスト2020」（環境省、令和2年3月）の掲載種（「準絶滅危惧（NT）」以上） ④「大切にしたい奈良県の野生動植物－奈良県版レッドデータブック2016改訂版」（奈良県 H28）の掲載種 <p style="text-align: center;">6-217</p>

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p style="text-align:center">表 6.3-32 ダム管理・運用と関わりの深い重要種の選定結果(魚類)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="4">指定ランク</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>文化財保護法</th> <th>種の保存法</th> <th>環境省RL</th> <th>奈良県RL</th> <th>H24(2012)</th> <th>H29(2017)</th> <th>指定ランク</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハス</td> <td></td> <td></td> <td>VU</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>食物の供給が保証される大河川や湖沼に連なる河川で生息している。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>アブラハヤ</td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>河川の中・上流域に生息する。淵や平瀬の底層にいて、底生動物や付着藻類などを食べる。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ムギツク</td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽2 □1</td> <td>△1</td> <td>川の中流域から下流域やこれに流入する用水路に生息する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>ドジョウ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> <td>▽4 □12</td> <td>□3</td> <td>河川の中流域から下流域にかけて、用水路、水田、湿地などに生息する。定着性が強く、広い年周移動は行わない。細流の水草などに産卵する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>ギギ</td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽7 □13 △9</td> <td>▽2 □5 △10</td> <td>平瀬から淵で、直径10cm以上の石のある河床の流れが穏やかになったところに生息する。夜行性で、石積護岸などの隙間やヨシなどの根や茎に覆われた部分を、隠れ家や繁殖場所、生息場所として利用している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>アユ</td> <td></td> <td></td> <td>寸前</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>主に、川の中流域で生息する。岩盤や石礫のあるところに好んで定住し、もっぱらそれらの表面の付着藻類を食べる。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ニッコウイワナ</td> <td></td> <td></td> <td>DD</td> <td></td> <td></td> <td>LI1</td> <td>河川の上流部や山間の湖に生息する。自然分布域外であり、他の放流個体に紛れて移入した可能性が高い。</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ミナミメダカ</td> <td></td> <td></td> <td>VU 希少</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い所などに生息する。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>カワヨシノボリ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> <td>▽1 □14 △45</td> <td>▽3 □15 △155</td> <td>川の中・上流域、淵の周辺から平瀬にかけての流れのゆるやかな所に生息する。付着藻類や小型の水生昆虫を食べる。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 指定ランク ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ③ 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧II類、EN：絶滅危惧III類 VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ④ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区(2012)</th> <th>調査地区(2017)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td>淀布下1</td> <td>淀布下1-1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td>淀布他1、淀布湖3、淀布湖5</td> <td>淀布他1、淀布湖3、淀布湖5</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td>淀布入1</td> <td>淀布入1-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 指定ランク：環境省RLの準絶滅危惧（NT）以上、または、奈良県RDBの希少種以上 確認場所：「下流河川」、「ダム湖」、「流入河川」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、湖沼に生息する種（放流を除く） 注4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p>	和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H24(2012)	H29(2017)	指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境	ハス			VU				食物の供給が保証される大河川や湖沼に連なる河川で生息している。	○	×	×	○	×	アブラハヤ			希少				河川の中・上流域に生息する。淵や平瀬の底層にいて、底生動物や付着藻類などを食べる。	○	×	×	○	×	ムギツク			希少		▽2 □1	△1	川の中流域から下流域やこれに流入する用水路に生息する。	○	○	○	○	●	ドジョウ			NT		▽4 □12	□3	河川の中流域から下流域にかけて、用水路、水田、湿地などに生息する。定着性が強く、広い年周移動は行わない。細流の水草などに産卵する。	○	○	○	○	●	ギギ			希少		▽7 □13 △9	▽2 □5 △10	平瀬から淵で、直径10cm以上の石のある河床の流れが穏やかになったところに生息する。夜行性で、石積護岸などの隙間やヨシなどの根や茎に覆われた部分を、隠れ家や繁殖場所、生息場所として利用している。	○	○	○	○	●	アユ			寸前				主に、川の中流域で生息する。岩盤や石礫のあるところに好んで定住し、もっぱらそれらの表面の付着藻類を食べる。	○	×	×	○	×	ニッコウイワナ			DD			LI1	河川の上流部や山間の湖に生息する。自然分布域外であり、他の放流個体に紛れて移入した可能性が高い。	×	○	○	×	×	ミナミメダカ			VU 希少				平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い所などに生息する。	○	×	×	○	×	カワヨシノボリ			NT		▽1 □14 △45	▽3 □15 △155	川の中・上流域、淵の周辺から平瀬にかけての流れのゆるやかな所に生息する。付着藻類や小型の水生昆虫を食べる。	○	○	○	○	●	確認場所	調査地区(2012)	調査地区(2017)	▽：下流河川	淀布下1	淀布下1-1	□：ダム湖岸	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5	◇：ダム湖周辺	—	—	○：周辺環境	—	—	△：流入河川	淀布入1	淀布入1-1	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p style="text-align:center">表 6.3-32 ダムと関わりの深い重要種の選定結果(魚類)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="4">指定ランク</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>文化財保護法</th> <th>種の保存法</th> <th>環境省RL</th> <th>奈良県RL</th> <th>H24(2012)</th> <th>H29(2017)</th> <th>指定ランク</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンウナギ</td> <td></td> <td></td> <td>EN</td> <td></td> <td>▽1</td> <td>△1</td> <td>主に、河川の中・下流域や河口域、湖に生息している。寡行性で、水生昆虫類、小型の魚類、貝類、エビ類、カエル類などを捕食する。放流が行われていることから、確認個体は放流個体である可能性がある。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ゲンゴロウブナ</td> <td></td> <td></td> <td>EN</td> <td></td> <td>□2</td> <td>□13</td> <td>湖や池沼などに生息し、浮遊動物の多い中層に群れをつつて遊泳しながら餌をとる。放流が行われていることから、確認個体は放流個体である可能性がある。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ハス</td> <td></td> <td></td> <td>VU</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>食物の供給が保証される大河川や湖沼に連なる河川で生息している。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>アブラハヤ</td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>河川の中・上流域に生息する。淵や平瀬の底層にいて、底生動物や付着藻類などを食べる。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ムギツク</td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽2 □1</td> <td>△1</td> <td>川の中流域から下流域やこれに流入する用水路に生息する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>ドジョウ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> <td>▽4 □12</td> <td>□3</td> <td>河川の中流域から下流域にかけて、用水路、水田、湿地などに生息する。定着性が強く、広い年周移動は行わない。細流の水草などに産卵する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>ギギ</td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽7 □13 △9</td> <td>▽2 □5 △10</td> <td>平瀬から淵で、直径10cm以上の石のある河床の流れが穏やかになったところに生息する。夜行性で、石積護岸などの隙間やヨシなどの根や茎に覆われた部分を、隠れ家や繁殖場所、生息場所として利用している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>アユ</td> <td></td> <td></td> <td>寸前</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>主に、川の中流域で生息する。岩盤や石礫のあるところに好んで定住し、もっぱらそれらの表面の付着藻類を食べる。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ニッコウイワナ</td> <td></td> <td></td> <td>DD</td> <td></td> <td></td> <td>□1</td> <td>河川の上流部や山間の湖に生息する。自然分布域外であり、他の放流個体に紛れて移入した可能性が高い。</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ミナミメダカ</td> <td></td> <td></td> <td>VU 希少</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い所などに生息する。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>カワヨシノボリ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> <td>▽1 □14 △45</td> <td>▽3 □15 △155</td> <td>川の中・上流域、淵の周辺から平瀬にかけての流れのゆるやかな所に生息する。付着藻類や小型の水生昆虫を食べる。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 指定ランク ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ③ 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧II類、EN：絶滅危惧III類 VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ④ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区(2012)</th> <th>調査地区(2017)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td>淀布下1</td> <td>淀布下1-1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td>淀布他1、淀布湖3、淀布湖5</td> <td>淀布他1、淀布湖3、淀布湖5</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td>淀布入1</td> <td>淀布入1-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 指定ランク：環境省RLの準絶滅危惧（NT）以上、または、奈良県RDBの希少種以上 確認場所：「下流河川」、「ダム湖」、「流入河川」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、湖沼に生息する種（放流を除く） 注4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p>	和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H24(2012)	H29(2017)	指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境	ニホンウナギ			EN		▽1	△1	主に、河川の中・下流域や河口域、湖に生息している。寡行性で、水生昆虫類、小型の魚類、貝類、エビ類、カエル類などを捕食する。放流が行われていることから、確認個体は放流個体である可能性がある。	○	○	○	×	×	ゲンゴロウブナ			EN		□2	□13	湖や池沼などに生息し、浮遊動物の多い中層に群れをつつて遊泳しながら餌をとる。放流が行われていることから、確認個体は放流個体である可能性がある。	○	○	○	×	×	ハス			VU				食物の供給が保証される大河川や湖沼に連なる河川で生息している。	○	×	×	○	×	アブラハヤ			希少				河川の中・上流域に生息する。淵や平瀬の底層にいて、底生動物や付着藻類などを食べる。	○	×	×	○	×	ムギツク			希少		▽2 □1	△1	川の中流域から下流域やこれに流入する用水路に生息する。	○	○	○	○	●	ドジョウ			NT		▽4 □12	□3	河川の中流域から下流域にかけて、用水路、水田、湿地などに生息する。定着性が強く、広い年周移動は行わない。細流の水草などに産卵する。	○	○	○	○	●	ギギ			希少		▽7 □13 △9	▽2 □5 △10	平瀬から淵で、直径10cm以上の石のある河床の流れが穏やかになったところに生息する。夜行性で、石積護岸などの隙間やヨシなどの根や茎に覆われた部分を、隠れ家や繁殖場所、生息場所として利用している。	○	○	○	○	●	アユ			寸前				主に、川の中流域で生息する。岩盤や石礫のあるところに好んで定住し、もっぱらそれらの表面の付着藻類を食べる。	○	×	×	○	×	ニッコウイワナ			DD			□1	河川の上流部や山間の湖に生息する。自然分布域外であり、他の放流個体に紛れて移入した可能性が高い。	×	○	○	×	×	ミナミメダカ			VU 希少				平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い所などに生息する。	○	×	×	○	×	カワヨシノボリ			NT		▽1 □14 △45	▽3 □15 △155	川の中・上流域、淵の周辺から平瀬にかけての流れのゆるやかな所に生息する。付着藻類や小型の水生昆虫を食べる。	○	○	○	○	●	確認場所	調査地区(2012)	調査地区(2017)	▽：下流河川	淀布下1	淀布下1-1	□：ダム湖岸	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5	◇：ダム湖周辺	—	—	○：周辺環境	—	—	△：流入河川	淀布入1	淀布入1-1
和名		指定ランク				確認場所・確認履歴			生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H24(2012)	H29(2017)	指定ランク	確認場所		確認履歴	生息環境																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ハス			VU				食物の供給が保証される大河川や湖沼に連なる河川で生息している。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
アブラハヤ			希少				河川の中・上流域に生息する。淵や平瀬の底層にいて、底生動物や付着藻類などを食べる。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ムギツク			希少		▽2 □1	△1	川の中流域から下流域やこれに流入する用水路に生息する。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ドジョウ			NT		▽4 □12	□3	河川の中流域から下流域にかけて、用水路、水田、湿地などに生息する。定着性が強く、広い年周移動は行わない。細流の水草などに産卵する。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ギギ			希少		▽7 □13 △9	▽2 □5 △10	平瀬から淵で、直径10cm以上の石のある河床の流れが穏やかになったところに生息する。夜行性で、石積護岸などの隙間やヨシなどの根や茎に覆われた部分を、隠れ家や繁殖場所、生息場所として利用している。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
アユ			寸前				主に、川の中流域で生息する。岩盤や石礫のあるところに好んで定住し、もっぱらそれらの表面の付着藻類を食べる。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ニッコウイワナ			DD			LI1	河川の上流部や山間の湖に生息する。自然分布域外であり、他の放流個体に紛れて移入した可能性が高い。	×	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ミナミメダカ			VU 希少				平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い所などに生息する。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
カワヨシノボリ			NT		▽1 □14 △45	▽3 □15 △155	川の中・上流域、淵の周辺から平瀬にかけての流れのゆるやかな所に生息する。付着藻類や小型の水生昆虫を食べる。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
確認場所	調査地区(2012)	調査地区(2017)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
▽：下流河川	淀布下1	淀布下1-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
□：ダム湖岸	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
◇：ダム湖周辺	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○：周辺環境	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
△：流入河川	淀布入1	淀布入1-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H24(2012)	H29(2017)		指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ニホンウナギ			EN		▽1	△1	主に、河川の中・下流域や河口域、湖に生息している。寡行性で、水生昆虫類、小型の魚類、貝類、エビ類、カエル類などを捕食する。放流が行われていることから、確認個体は放流個体である可能性がある。	○	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ゲンゴロウブナ			EN		□2	□13	湖や池沼などに生息し、浮遊動物の多い中層に群れをつつて遊泳しながら餌をとる。放流が行われていることから、確認個体は放流個体である可能性がある。	○	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ハス			VU				食物の供給が保証される大河川や湖沼に連なる河川で生息している。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
アブラハヤ			希少				河川の中・上流域に生息する。淵や平瀬の底層にいて、底生動物や付着藻類などを食べる。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ムギツク			希少		▽2 □1	△1	川の中流域から下流域やこれに流入する用水路に生息する。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ドジョウ			NT		▽4 □12	□3	河川の中流域から下流域にかけて、用水路、水田、湿地などに生息する。定着性が強く、広い年周移動は行わない。細流の水草などに産卵する。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ギギ			希少		▽7 □13 △9	▽2 □5 △10	平瀬から淵で、直径10cm以上の石のある河床の流れが穏やかになったところに生息する。夜行性で、石積護岸などの隙間やヨシなどの根や茎に覆われた部分を、隠れ家や繁殖場所、生息場所として利用している。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
アユ			寸前				主に、川の中流域で生息する。岩盤や石礫のあるところに好んで定住し、もっぱらそれらの表面の付着藻類を食べる。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ニッコウイワナ			DD			□1	河川の上流部や山間の湖に生息する。自然分布域外であり、他の放流個体に紛れて移入した可能性が高い。	×	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ミナミメダカ			VU 希少				平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い所などに生息する。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
カワヨシノボリ			NT		▽1 □14 △45	▽3 □15 △155	川の中・上流域、淵の周辺から平瀬にかけての流れのゆるやかな所に生息する。付着藻類や小型の水生昆虫を食べる。	○	○	○	○	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
確認場所	調査地区(2012)	調査地区(2017)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
▽：下流河川	淀布下1	淀布下1-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
□：ダム湖岸	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5	淀布他1、淀布湖3、淀布湖5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
◇：ダム湖周辺	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○：周辺環境	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
△：流入河川	淀布入1	淀布入1-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

修正後（委員会後） 修正前（委員会時）

<本編（生物）>

布目ダム定期報告書(R4)

6章 生物

⑤ 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類・爬虫類・哺乳類のうち、ダムの管理・運用と関わりの深い重要種の選定結果を表 6.3-36～表 6.3-38 にそれぞれ示す。

これまでの調査結果から、布目ダムにおける両生類・爬虫類・哺乳類の重要種として、アカハライモリ、トノサマガエル、ニホンイシガメ、ヒバカリ、ニホンコキクガシラコウモリ等の 23 種 が確認された。

このうち、4 つの選定基準に全て該当する種である両生類のアカハライモリ、爬虫類のニホンイシガメ 2 種をダムの管理・運用と関わりの深い重要種として選定した。

表 6.3-36 ダム管理・運用と関わりの深い重要種の選定結果（両生類）

和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果
	文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	奈良県 R L	H23 (2011)	R3 (2021)		指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境	
アカハライモリ		NT			△1	▽3 □2 △9	・池・湿地等の水中に多いが、山間の自然公園や林道の側溝等でも見られる。産卵場は池や種やかな流れがある小川等である。主にミミズ、昆虫、カエルの幼生等を捕食する。(⇒生息環境: ●)	○	○	○	○	●
ニホンヒキガエル			危惧		▽1 □1	□1	・農耕地、二次林、草原、自然林、都市公園、埋立地など幅広く生息する。垂直分布の幅も広く、海岸近くから高山帯に至る。	○	○	○	×	×
ニホンアカガエル			危惧		▽1 □1 △27	▽1 □1	・平地ないし丘陵地、水田を中心に生息する。	○	○	○	×	×
ヤマアカガエル			危惧		▽1 □1 △27	▽1 □1	・丘陵地ないし山地に生息し、水田、湿地などで繁殖する。	○	○	○	×	×
トノサマガエル		NT			▽35 □32 △81	▽45 □156 △73	・平地から山際にかけての水田や池に生息する。肉食性で昆虫やクモ、ミミズ、カエル等をよく捕食し、小型のヘビを捕食することもある。	○	○	○	×	×
ツチガエル			希少				・水田や湿地、池、山地の溪流から河口域まで、淡水域に幅広く生息する。	○	×	×	○	×
シュレーゲルアオガエル			希少		□4 △2	▽10 △4	・水田や森林等に生息する。繁殖期は4～6月で、水田の畔や池沼の岸部に白い泡状の卵塊を産み付ける。	○	○	○	×	×
モリアオガエル			寸前			▽1 □230	山間部から平野部までの森林に生息し、主に樹上で生活する。繁殖期になると、白い泡状の卵塊を樹木の枝先などに産む。	○	○	○	×	×

- 注 1) 指定ランク
 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）
 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物
 ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）
 国内：国内希少野生動植物種
 ③ 「環境省 RL」：環境省レッドリスト 2020（令和 2 年 3 月 27 日 環境省報道発表資料）
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類
 VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
 ④ 「奈良県 RDB」：奈良県版レッドデータブック 2016
 （平成 29 年 3 月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課）
 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種
 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種

注 2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す
 ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川

確認場所	調査地区 (2011)	調査地区 (2021)
▽：下流河川	N-1	淀布下 1
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周 2、淀布周 3、 淀布湖 2、淀布湖 4
◇：ダム湖周辺	—	—
○：周辺環境	—	—
△：流入河川	—	—

- 注 3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分）
 指定ランク：環境省 RL の準絶滅危惧 (NT) 以上、または、奈良県 RDB の希少種以上
 確認場所：「下流河川」、「ダム湖岸」、「周辺溪流」
 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている
 生息環境：河川、湖岸、溪流に生息する種
 注 4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した
 注 5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す

<本編（生物）>

布目ダム定期報告書(R4)

6章 生物

⑤ 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類・爬虫類・哺乳類のうち、ダムと関わりの深い重要種の選定結果を表 6.3-36～表 6.3-38 にそれぞれ示す。

これまでの調査結果から、布目ダムにおける両生類・爬虫類・哺乳類の重要種として、アカハライモリ、トノサマガエル、ニホンイシガメ、ヒバカリ、ニホンコキクガシラコウモリ等の 25 種が確認された。

このうち、4 つの選定基準に全て該当する種である両生類のアカハライモリ、爬虫類のニホンイシガメ 2 種をダムと関わりの深い重要種として選定した。

表 6.3-36 ダムと関わりの深い重要種の選定結果（両生類）

和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果
	文化財保護法	種の保存法	環境省 RL	奈良県 R L	H23 (2011)	R3 (2021)		指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境	
アカハライモリ		NT			△1	▽3 □2 △9	・池・湿地等の水中に多いが、山間の自然公園や林道の側溝等でも見られる。産卵場は池や種やかな流れがある小川等である。主にミミズ、昆虫、カエルの幼生等を捕食する。(⇒生息環境: ●)	○	○	○	○	●
ニホンヒキガエル			危惧		▽1 □1	□1	・農耕地、二次林、草原、自然林、都市公園、埋立地など幅広く生息する。垂直分布の幅も広く、海岸近くから高山帯に至る。	○	○	○	×	×
ニホンアカガエル			危惧		▽1 □1 △27	▽1 □1	・平地ないし丘陵地、水田を中心に生息する。	○	○	○	×	×
ヤマアカガエル			危惧		▽1 □1 △27	▽1 □1	・丘陵地ないし山地に生息し、水田、湿地などで繁殖する。	○	○	○	×	×
トノサマガエル		NT			▽35 □32 △81	▽45 □156 △73	・平地から山際にかけての水田や池に生息する。肉食性で昆虫やクモ、ミミズ、カエル等をよく捕食し、小型のヘビを捕食することもある。	○	○	○	×	×
ツチガエル			希少				・水田や湿地、池、山地の溪流から河口域まで、淡水域に幅広く生息する。	○	×	×	○	×
シュレーゲルアオガエル			希少		□4 △2	▽10 △4	・水田や森林等に生息する。繁殖期は4～6月で、水田の畔や池沼の岸部に白い泡状の卵塊を産み付ける。	○	○	○	×	×
モリアオガエル			寸前			▽1 □230	山間部から平野部までの森林に生息し、主に樹上で生活する。繁殖期になると、白い泡状の卵塊を樹木の枝先などに産む。	○	○	○	×	×

- 注 1) 指定ランク
 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）
 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物
 ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）
 国内：国内希少野生動植物種
 ③ 「環境省 RL」：環境省レッドリスト 2020（令和 2 年 3 月 27 日 環境省報道発表資料）
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類
 VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
 ④ 「奈良県 RDB」：奈良県版レッドデータブック 2016
 （平成 29 年 3 月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課）
 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種
 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種

注 2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す
 ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川

確認場所	調査地区 (2011)	調査地区 (2021)
▽：下流河川	N-1	淀布下 1
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周 2、淀布周 3、 淀布湖 2、淀布湖 4
◇：ダム湖周辺	—	—
○：周辺環境	—	—
△：流入河川	—	—

- 注 3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分）
 指定ランク：環境省 RL の準絶滅危惧 (NT) 以上、または、奈良県 RDB の希少種以上
 確認場所：「下流河川」、「ダム湖岸」、「周辺溪流」
 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている
 生息環境：河川、湖岸、溪流に生息する種
 注 4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した
 注 5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）																																																																																																																																																																																																																																														
<p><本編（生物）></p> <p style="text-align: center;">布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-38 ダム管理・運用と関わりの深い重要種の選定結果(哺乳類)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="4">指定ランク</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>文化財保護法</th> <th>種の保存法</th> <th>環境省RL</th> <th>奈良県RL</th> <th>H23(2011)</th> <th>R3(2021)</th> <th>指定ランク</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンコキウガシラコウモリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽1</td> <td>洞窟や廃坑を好んで隠れ家とし、夜間に森を出て飛翔昆虫を捕食する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>キクガシラコウモリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽1 ○4</td> <td>洞穴性で平地・小丘陵・森林・草原などで採餌する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>モモジロコウモリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td>△1</td> <td></td> <td>原生林の残されている地域に生息している。昼間は洞窟にいる。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>カヤネズミ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td></td> <td>河川敷の草原や原野に生息する。低地の草地、水田、畑、沼沢地などイネ科植物が密生し、湿潤な環境を好む。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ホンドイタチ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td>□1 △81</td> <td></td> <td>主な活動地域は川や湖沼、湿地、沢などの水辺であるが、水辺から離れた森林地帯にも生息する。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 指定ランク ①「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 ②「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ③「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ④「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土種</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区(2011)</th> <th>調査地区(2021)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td>N-1</td> <td>淀布下1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td>N-14、N-15、N-16、N-17</td> <td>淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td>N-11、N-12、N-13</td> <td>淀布周1、淀布周4、淀布周5</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 指定ランク：環境省RLの準絶滅危惧（NT）以上、または、奈良県RDBの希少種以上 確認場所：「下流河川」、「ダム湖岸」、「周辺山林」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、里山や山林、湖岸に生息する種 注4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p>	和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H23(2011)	R3(2021)	指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境	ニホンコキウガシラコウモリ				希少		▽1	洞窟や廃坑を好んで隠れ家とし、夜間に森を出て飛翔昆虫を捕食する。	○	○	○	×	×	キクガシラコウモリ				希少		▽1 ○4	洞穴性で平地・小丘陵・森林・草原などで採餌する。	○	○	○	×	×	モモジロコウモリ				希少	△1		原生林の残されている地域に生息している。昼間は洞窟にいる。	○	×	×	×	×	カヤネズミ				希少			河川敷の草原や原野に生息する。低地の草地、水田、畑、沼沢地などイネ科植物が密生し、湿潤な環境を好む。	○	×	×	○	×	ホンドイタチ				希少	□1 △81		主な活動地域は川や湖沼、湿地、沢などの水辺であるが、水辺から離れた森林地帯にも生息する。	○	×	×	○	×	確認場所	調査地区(2011)	調査地区(2021)	▽：下流河川	N-1	淀布下1	□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4	◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5	○：周辺環境	—	—	△：流入河川	—	—	<p><本編（生物）></p> <p style="text-align: center;">布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-38 ダムと関わりの深い重要種の選定結果(哺乳類)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="4">指定ランク</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>文化財保護法</th> <th>種の保存法</th> <th>環境省RL</th> <th>奈良県RL</th> <th>H23(2011)</th> <th>R3(2021)</th> <th>指定ランク</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンコキウガシラコウモリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽1</td> <td>洞窟や廃坑を好んで隠れ家とし、夜間に森を出て飛翔昆虫を捕食する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>キクガシラコウモリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td>▽1 ○4</td> <td>洞穴性で平地・小丘陵・森林・草原などで採餌する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>モモジロコウモリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td>△1</td> <td></td> <td>原生林の残されている地域に生息している。昼間は洞窟にいる。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ホンドザル</td> <td></td> <td></td> <td>LP</td> <td></td> <td>□3</td> <td>▽1</td> <td>広葉樹林に生息し、果実、種子、葉、芽、昆虫などを採食する。農林作物を食害することもある。（※北奥羽・北上山系、金華山、尾瀬半島の地域個体群が対象）</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ニホンリス</td> <td></td> <td></td> <td>LP</td> <td></td> <td>○2</td> <td></td> <td>山地から亜高山帯までの森林地帯などに生息している。（※九州、中国地方の地域個体群が対象）</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>カヤネズミ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td></td> <td></td> <td>河川敷の草原や原野に生息する。低地の草地、水田、畑、沼沢地などイネ科植物が密生し、湿潤な環境を好む。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ホンドイタチ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> <td>□1 △81</td> <td></td> <td>主な活動地域は川や湖沼、湿地、沢などの水辺であるが、水辺から離れた森林地帯にも生息する。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 指定ランク ①「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 ②「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ③「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ④「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危惧：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土種</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区(2011)</th> <th>調査地区(2021)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td>N-1</td> <td>淀布下1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td>N-14、N-15、N-16、N-17</td> <td>淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td>N-11、N-12、N-13</td> <td>淀布周1、淀布周4、淀布周5</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 指定ランク：環境省RLの準絶滅危惧（NT）以上、または、奈良県RDBの希少種以上 確認場所：「下流河川」、「ダム湖岸」、「周辺山林」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、里山や山林、湖岸に生息する種 注4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p>	和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H23(2011)	R3(2021)	指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境	ニホンコキウガシラコウモリ				希少		▽1	洞窟や廃坑を好んで隠れ家とし、夜間に森を出て飛翔昆虫を捕食する。	○	○	○	×	×	キクガシラコウモリ				希少		▽1 ○4	洞穴性で平地・小丘陵・森林・草原などで採餌する。	○	○	○	×	×	モモジロコウモリ				希少	△1		原生林の残されている地域に生息している。昼間は洞窟にいる。	○	×	×	×	×	ホンドザル			LP		□3	▽1	広葉樹林に生息し、果実、種子、葉、芽、昆虫などを採食する。農林作物を食害することもある。（※北奥羽・北上山系、金華山、尾瀬半島の地域個体群が対象）	×	○	○	×	×	ニホンリス			LP		○2		山地から亜高山帯までの森林地帯などに生息している。（※九州、中国地方の地域個体群が対象）	×	×	○	×	×	カヤネズミ				希少			河川敷の草原や原野に生息する。低地の草地、水田、畑、沼沢地などイネ科植物が密生し、湿潤な環境を好む。	○	×	×	○	×	ホンドイタチ				希少	□1 △81		主な活動地域は川や湖沼、湿地、沢などの水辺であるが、水辺から離れた森林地帯にも生息する。	○	×	×	○	×	確認場所	調査地区(2011)	調査地区(2021)	▽：下流河川	N-1	淀布下1	□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4	◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5	○：周辺環境	—	—	△：流入河川	—	—
和名		指定ランク				確認場所・確認履歴			生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																																																																																																																																																																	
	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H23(2011)	R3(2021)	指定ランク	確認場所		確認履歴	生息環境																																																																																																																																																																																																																																				
ニホンコキウガシラコウモリ				希少		▽1	洞窟や廃坑を好んで隠れ家とし、夜間に森を出て飛翔昆虫を捕食する。	○	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
キクガシラコウモリ				希少		▽1 ○4	洞穴性で平地・小丘陵・森林・草原などで採餌する。	○	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
モモジロコウモリ				希少	△1		原生林の残されている地域に生息している。昼間は洞窟にいる。	○	×	×	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
カヤネズミ				希少			河川敷の草原や原野に生息する。低地の草地、水田、畑、沼沢地などイネ科植物が密生し、湿潤な環境を好む。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																			
ホンドイタチ				希少	□1 △81		主な活動地域は川や湖沼、湿地、沢などの水辺であるが、水辺から離れた森林地帯にも生息する。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																			
確認場所	調査地区(2011)	調査地区(2021)																																																																																																																																																																																																																																													
▽：下流河川	N-1	淀布下1																																																																																																																																																																																																																																													
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4																																																																																																																																																																																																																																													
◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5																																																																																																																																																																																																																																													
○：周辺環境	—	—																																																																																																																																																																																																																																													
△：流入河川	—	—																																																																																																																																																																																																																																													
和名	指定ランク				確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																																																																																																																																																																			
	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RL	H23(2011)	R3(2021)		指定ランク	確認場所	確認履歴	生息環境																																																																																																																																																																																																																																				
ニホンコキウガシラコウモリ				希少		▽1	洞窟や廃坑を好んで隠れ家とし、夜間に森を出て飛翔昆虫を捕食する。	○	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
キクガシラコウモリ				希少		▽1 ○4	洞穴性で平地・小丘陵・森林・草原などで採餌する。	○	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
モモジロコウモリ				希少	△1		原生林の残されている地域に生息している。昼間は洞窟にいる。	○	×	×	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
ホンドザル			LP		□3	▽1	広葉樹林に生息し、果実、種子、葉、芽、昆虫などを採食する。農林作物を食害することもある。（※北奥羽・北上山系、金華山、尾瀬半島の地域個体群が対象）	×	○	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
ニホンリス			LP		○2		山地から亜高山帯までの森林地帯などに生息している。（※九州、中国地方の地域個体群が対象）	×	×	○	×	×																																																																																																																																																																																																																																			
カヤネズミ				希少			河川敷の草原や原野に生息する。低地の草地、水田、畑、沼沢地などイネ科植物が密生し、湿潤な環境を好む。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																			
ホンドイタチ				希少	□1 △81		主な活動地域は川や湖沼、湿地、沢などの水辺であるが、水辺から離れた森林地帯にも生息する。	○	×	×	○	×																																																																																																																																																																																																																																			
確認場所	調査地区(2011)	調査地区(2021)																																																																																																																																																																																																																																													
▽：下流河川	N-1	淀布下1																																																																																																																																																																																																																																													
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4																																																																																																																																																																																																																																													
◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5																																																																																																																																																																																																																																													
○：周辺環境	—	—																																																																																																																																																																																																																																													
△：流入河川	—	—																																																																																																																																																																																																																																													

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>⑦選定結果まとめ</p> <p>これまでの河川水辺の国勢調査で確認された重要種の種数とダムの管理・運用と関わりの深い重要種の選定結果を表 6.3-40、表 6.3-41 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-40 ダム管理・運用と関わりの深い重要種の選定結果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>確認された重要種数</th> <th>選定した重要種数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魚類</td> <td style="text-align: center;"><u>9種</u></td> <td style="text-align: center;">4種</td> </tr> <tr> <td>底生動物</td> <td style="text-align: center;">19種</td> <td style="text-align: center;">5種</td> </tr> <tr> <td>植物</td> <td style="text-align: center;">37種</td> <td style="text-align: center;">3種</td> </tr> <tr> <td>鳥類</td> <td style="text-align: center;">38種</td> <td style="text-align: center;">4種</td> </tr> <tr> <td>両生類</td> <td style="text-align: center;"><u>8種</u></td> <td style="text-align: center;">1種</td> </tr> <tr> <td>爬虫類</td> <td style="text-align: center;"><u>10種</u></td> <td style="text-align: center;">1種</td> </tr> <tr> <td>哺乳類</td> <td style="text-align: center;"><u>5種</u></td> <td style="text-align: center;">0種</td> </tr> <tr> <td>陸上昆虫類等</td> <td style="text-align: center;">26種</td> <td style="text-align: center;">1種</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 6.3-41 ダム管理・運用と関わりの深い重要種の一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="4">重要種選定基準</th> </tr> <tr> <th>文化財保護法</th> <th>種の保存法</th> <th>環境省RL</th> <th>奈良県RDB</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">魚類</td> <td>コイ科</td> <td>ムギツク</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>ドジョウ科</td> <td>ドジョウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ギギ科</td> <td>ギギ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">底生動物</td> <td>ハゼ科</td> <td>カワヨシノボリ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヒラマキガイ科</td> <td>ヒラマキガイモドキ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アメンボ科</td> <td>ヤスマツアメンボ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>コオイムシ科</td> <td>コオイムシ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>トビケラ科</td> <td>ムラサキトビケラ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>植物</td> <td>マダラコガシラミズムシ科</td> <td>マダラコガシラミズムシ</td> <td></td> <td></td> <td>VU</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鳥類</td> <td>ラン科</td> <td>シラン</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>カヤツリグサ科</td> <td>シロガヤツリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>シソ科</td> <td>メハジキ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">両生類</td> <td>ミサゴ科</td> <td>ミサゴ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>カワセミ科</td> <td>ヤマセミ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>カワガラス科</td> <td>カワガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>ホオジロ科</td> <td>アオジ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危機</td> </tr> <tr> <td>爬虫類</td> <td>イモリ科</td> <td>アカハライモリ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">陸上昆虫類等</td> <td>イシガメ科</td> <td>ニホンイシガメ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>危機</td> </tr> <tr> <td>ガムシ科</td> <td>シジミガムシ</td> <td></td> <td></td> <td>EN</td> <td>不足</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 重要種の選定基準 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ③ 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ④ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危機：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p>	項目	確認された重要種数	選定した重要種数	魚類	<u>9種</u>	4種	底生動物	19種	5種	植物	37種	3種	鳥類	38種	4種	両生類	<u>8種</u>	1種	爬虫類	<u>10種</u>	1種	哺乳類	<u>5種</u>	0種	陸上昆虫類等	26種	1種	項目	科名	和名	重要種選定基準				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RDB	魚類	コイ科	ムギツク			NT	希少	ドジョウ科	ドジョウ					ギギ科	ギギ			NT	希少	底生動物	ハゼ科	カワヨシノボリ			NT		ヒラマキガイ科	ヒラマキガイモドキ			NT		アメンボ科	ヤスマツアメンボ				希少	コオイムシ科	コオイムシ			NT	希少	トビケラ科	ムラサキトビケラ				希少	植物	マダラコガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ			VU	希少	鳥類	ラン科	シラン			NT	希少	カヤツリグサ科	シロガヤツリ				希少	シソ科	メハジキ				希少	両生類	ミサゴ科	ミサゴ			NT	希少	カワセミ科	ヤマセミ				希少	カワガラス科	カワガラス				希少	ホオジロ科	アオジ				危機	爬虫類	イモリ科	アカハライモリ			NT		陸上昆虫類等	イシガメ科	ニホンイシガメ			NT	危機	ガムシ科	シジミガムシ			EN	不足	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>⑦選定結果まとめ</p> <p>これまでの河川水辺の国勢調査で確認された重要種の種数とダムと関わりの深い重要種の選定結果を表 6.3-40、表 6.3-41 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-40 ダムと関わりの深い重要種の選定結果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>確認された重要種数</th> <th>選定した重要種数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魚類</td> <td style="text-align: center;">11種</td> <td style="text-align: center;">4種</td> </tr> <tr> <td>底生動物</td> <td style="text-align: center;">19種</td> <td style="text-align: center;">5種</td> </tr> <tr> <td>植物</td> <td style="text-align: center;">37種</td> <td style="text-align: center;">3種</td> </tr> <tr> <td>鳥類</td> <td style="text-align: center;">38種</td> <td style="text-align: center;">4種</td> </tr> <tr> <td>両生類</td> <td style="text-align: center;">5種</td> <td style="text-align: center;">1種</td> </tr> <tr> <td>爬虫類</td> <td style="text-align: center;">9種</td> <td style="text-align: center;">1種</td> </tr> <tr> <td>哺乳類</td> <td style="text-align: center;">6種</td> <td style="text-align: center;">0種</td> </tr> <tr> <td>陸上昆虫類等</td> <td style="text-align: center;">26種</td> <td style="text-align: center;">1種</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 6.3-41 ダムと関わりの深い重要種の一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="4">重要種選定基準</th> </tr> <tr> <th>文化財保護法</th> <th>種の保存法</th> <th>環境省RL</th> <th>奈良県RDB</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">魚類</td> <td>コイ科</td> <td>ムギツク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>ドジョウ科</td> <td>ドジョウ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ギギ科</td> <td>ギギ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">底生動物</td> <td>ハゼ科</td> <td>カワヨシノボリ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヒラマキガイ科</td> <td>ヒラマキガイモドキ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アメンボ科</td> <td>ヤスマツアメンボ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>コオイムシ科</td> <td>コオイムシ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>トビケラ科</td> <td>ムラサキトビケラ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>植物</td> <td>マダラコガシラミズムシ科</td> <td>マダラコガシラミズムシ</td> <td></td> <td></td> <td>VU</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鳥類</td> <td>ラン科</td> <td>シラン</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>カヤツリグサ科</td> <td>シロガヤツリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>シソ科</td> <td>メハジキ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">両生類</td> <td>ミサゴ科</td> <td>ミサゴ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>カワセミ科</td> <td>ヤマセミ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>カワガラス科</td> <td>カワガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>希少</td> </tr> <tr> <td>ホオジロ科</td> <td>アオジ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>危機</td> </tr> <tr> <td>爬虫類</td> <td>イモリ科</td> <td>アカハライモリ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">陸上昆虫類等</td> <td>イシガメ科</td> <td>ニホンイシガメ</td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>危機</td> </tr> <tr> <td>ガムシ科</td> <td>シジミガムシ</td> <td></td> <td></td> <td>EN</td> <td>不足</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 重要種の選定基準 ① 「文化財保護法」：文化財保護法（昭和25年法律第214号） 特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物、市天：市天然記念物 ② 「種の保存法」：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号） 国内：国内希少野生動植物種 ③ 「環境省RL」：環境省レッドリスト2020（令和2年3月27日 環境省報道発表資料） EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ④ 「奈良県RDB」：奈良県版レッドデータブック2016（平成29年3月 奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課） 絶滅：絶滅種、野生：野生絶滅種、寸前：絶滅寸前種、危機：絶滅危惧種、希少：希少種 不足：情報不足種、注目：注目種、郷土：郷土種</p>	項目	確認された重要種数	選定した重要種数	魚類	11種	4種	底生動物	19種	5種	植物	37種	3種	鳥類	38種	4種	両生類	5種	1種	爬虫類	9種	1種	哺乳類	6種	0種	陸上昆虫類等	26種	1種	項目	科名	和名	重要種選定基準				文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RDB	魚類	コイ科	ムギツク				希少	ドジョウ科	ドジョウ			NT		ギギ科	ギギ				希少	底生動物	ハゼ科	カワヨシノボリ			NT		ヒラマキガイ科	ヒラマキガイモドキ			NT		アメンボ科	ヤスマツアメンボ				希少	コオイムシ科	コオイムシ			NT	希少	トビケラ科	ムラサキトビケラ				希少	植物	マダラコガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ			VU	希少	鳥類	ラン科	シラン			NT	希少	カヤツリグサ科	シロガヤツリ				希少	シソ科	メハジキ				希少	両生類	ミサゴ科	ミサゴ			NT	希少	カワセミ科	ヤマセミ				希少	カワガラス科	カワガラス				希少	ホオジロ科	アオジ				危機	爬虫類	イモリ科	アカハライモリ			NT		陸上昆虫類等	イシガメ科	ニホンイシガメ			NT	危機	ガムシ科	シジミガムシ			EN	不足
項目	確認された重要種数	選定した重要種数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
魚類	<u>9種</u>	4種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
底生動物	19種	5種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
植物	37種	3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鳥類	38種	4種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
両生類	<u>8種</u>	1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
爬虫類	<u>10種</u>	1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
哺乳類	<u>5種</u>	0種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
陸上昆虫類等	26種	1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
項目	科名	和名	重要種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RDB																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
魚類	コイ科	ムギツク			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドジョウ科	ドジョウ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	ギギ科	ギギ			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
底生動物	ハゼ科	カワヨシノボリ			NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ヒラマキガイ科	ヒラマキガイモドキ			NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	アメンボ科	ヤスマツアメンボ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	コオイムシ科	コオイムシ			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	トビケラ科	ムラサキトビケラ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
植物	マダラコガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ			VU	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鳥類	ラン科	シラン			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	カヤツリグサ科	シロガヤツリ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	シソ科	メハジキ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
両生類	ミサゴ科	ミサゴ			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	カワセミ科	ヤマセミ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	カワガラス科	カワガラス				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ホオジロ科	アオジ				危機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
爬虫類	イモリ科	アカハライモリ			NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
陸上昆虫類等	イシガメ科	ニホンイシガメ			NT	危機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ガムシ科	シジミガムシ			EN	不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
項目	確認された重要種数	選定した重要種数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
魚類	11種	4種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
底生動物	19種	5種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
植物	37種	3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鳥類	38種	4種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
両生類	5種	1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
爬虫類	9種	1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
哺乳類	6種	0種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
陸上昆虫類等	26種	1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
項目	科名	和名	重要種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			文化財保護法	種の保存法	環境省RL	奈良県RDB																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
魚類	コイ科	ムギツク				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドジョウ科	ドジョウ			NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ギギ科	ギギ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
底生動物	ハゼ科	カワヨシノボリ			NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ヒラマキガイ科	ヒラマキガイモドキ			NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	アメンボ科	ヤスマツアメンボ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	コオイムシ科	コオイムシ			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	トビケラ科	ムラサキトビケラ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
植物	マダラコガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ			VU	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鳥類	ラン科	シラン			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	カヤツリグサ科	シロガヤツリ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	シソ科	メハジキ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
両生類	ミサゴ科	ミサゴ			NT	希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	カワセミ科	ヤマセミ				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	カワガラス科	カワガラス				希少																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ホオジロ科	アオジ				危機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
爬虫類	イモリ科	アカハライモリ			NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
陸上昆虫類等	イシガメ科	ニホンイシガメ			NT	危機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ガムシ科	シジミガムシ			EN	不足																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
6-233	6-233																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>6.3.4 外来種の変化の把握</p> <p>(1) ダム管理・運用と関わりの深い外来種の選定</p> <p>布目ダムの存在・供用に伴う環境条件の変化、布目ダムの特性(立地条件、経過年数)及び既往定期報告書等から、外来種について、ダムの管理・運用の面から、今後の動向について留意すべき生物種の選定を行った。</p> <p>ダムの管理・運用と関わりの深い外来種の選定にあたっては、以下に示す指定ランクに基づき外来種の抽出を行うとともに、表 6.3-59 に示す4つの選定条件を踏まえて、ダムの管理・運用と関わりの深い外来種の選定を行った。</p> <p><指定ランク></p> <p>①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月法律第78号）で指定された特定外来生物</p> <p>②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年 環境省及び農林水産省）の掲載種</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>※P6-251～6-279については、 「ダムと関わりの深い外来種」を「ダム管理・運用と関わりの深い外来種」に 本文及び表のタイトルを修正する。</p> </div> <p style="text-align: center;">6-251</p>	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>6.3.4 外来種の変化の把握</p> <p>(1) ダムと関わりの深い外来種の選定</p> <p>布目ダムの存在・供用に伴う環境条件の変化、布目ダムの特性(立地条件、経過年数)及び既往定期報告書等から、外来種について、ダムの運用・管理の面から、今後の動向について留意すべき生物種の選定を行った。</p> <p>ダムと関わりの深い外来種の選定にあたっては、以下に示す指定ランクに基づき外来種の抽出を行うとともに、表 6.3-59 に示す4つの選定条件を踏まえて、ダムと関わりの深い外来種の選定を行った。</p> <p><指定ランク></p> <p>①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月法律第78号）で指定された特定外来生物</p> <p>②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年 環境省及び農林水産省）の掲載種</p> <p style="text-align: center;">6-251</p>

布目ダム定期報告書（案）修正前後対照表

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）																																																																																																
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>④鳥類 これまでの調査結果から、布目ダムにおける鳥類の外来種は確認されていないため、ダムの管理・運用と関わりの深い外来種は選定しなかった。</p> <p>⑤両生類・爬虫類・哺乳類 両生類・爬虫類・哺乳類のうち、ダムの管理・運用と関わりの深い外来種の選定結果を表 6.3-63～表 6.3-65 に示す。 これまでの調査結果から、布目ダムにおける両生類・爬虫類・哺乳類の外来種として、ウシガエル、ミシシippアカミミガメ、アライグマ、ハクビシンの4種が確認された。そのうち4つの選定基準に全て該当したウシガエル、ミシシippアカミミガメ、アライグマの3種をダムの管理・運用と関わりの深い外来種として選定した。</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-63 ダム管理・運用と関わりの深い外来種の選定結果（両生類）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種名</th> <th colspan="2">外来種指定</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>外来生物法</th> <th>生態系被害防止</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来種指定</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウシガエル</td> <td style="color: red;">特定</td> <td style="color: red;">重点</td> <td style="color: red;">▽2 □9</td> <td style="color: red;">□7</td> <td>池沼などの止水や穏やかな流れの周辺に生息する。口に入る大きさであればほとんどの動物を食べる。昆虫、アメリカザリガニ、他のカエル類、魚類など多くの小動物が捕食の影響を受ける。小型哺乳類や小鳥を襲うこともある。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 外来種指定 ①「外来生物法」：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年法律第78号）の掲載種 特定：特定外来生物 ②「生態系被害防止」：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年3月 環境省及び農林水産省）の掲載種 定着：定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合：総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除（野外での取り除き、分布拡大の防止等）、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業：産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区 (2011)</th> <th>調査地区 (2021)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td style="text-align: center;">N-1</td> <td style="text-align: center;">淀布下1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td style="text-align: center;">N-14、N-15、N-16、N-17</td> <td style="text-align: center;">淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 外来種指定：外来生物法（特定外来生物）、または、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストに掲載された種 確認場所：「下流河川」、「ダム湖」、「周辺溪流」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、湖岸、溪流に生息する種</p> <p>注4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p> <p style="text-align: center;">6-259</p>	種名	外来種指定		確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)	外来種指定	確認場所	確認履歴	生息環境	ウシガエル	特定	重点	▽2 □9	□7	池沼などの止水や穏やかな流れの周辺に生息する。口に入る大きさであればほとんどの動物を食べる。昆虫、アメリカザリガニ、他のカエル類、魚類など多くの小動物が捕食の影響を受ける。小型哺乳類や小鳥を襲うこともある。	○	○	○	○	●	確認場所	調査地区 (2011)	調査地区 (2021)	▽：下流河川	N-1	淀布下1	□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4	◇：ダム湖周辺	-	-	○：周辺環境	-	-	△：流入河川	-	-	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>④鳥類 これまでの調査結果から、布目ダムにおける鳥類の外来種は確認されていないため、ダムと関わりの深い外来種は選定しなかった。</p> <p>⑤両生類・爬虫類・哺乳類 両生類・爬虫類・哺乳類のうち、ダムと関わりの深い外来種の選定結果を表 6.3-63～表 6.3-65 に示す。 これまでの調査結果から、布目ダムにおける両生類・爬虫類・哺乳類の外来種として、ウシガエル、ミシシippアカミミガメ、アライグマ、ハクビシン、ノネコの5種が確認された。そのうち4つの選定基準に全て該当したウシガエル、ミシシippアカミミガメ、アライグマの3種をダムと関わりの深い外来種として選定した。</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-63 ダムと関わりの深い外来種の選定結果（両生類）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種名</th> <th colspan="2">外来種指定</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>外来生物法</th> <th>生態系被害防止</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来種指定</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウシガエル</td> <td style="color: red;">特定</td> <td style="color: red;">重点</td> <td style="color: red;">▽2 □9</td> <td style="color: red;">□7</td> <td>池沼などの止水や穏やかな流れの周辺に生息する。口に入る大きさであればほとんどの動物を食べる。昆虫、アメリカザリガニ、他のカエル類、魚類など多くの小動物が捕食の影響を受ける。小型哺乳類や小鳥を襲うこともある。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 外来種指定 ①「外来生物法」：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年法律第78号）の掲載種 特定：特定外来生物 ②「生態系被害防止」：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年3月 環境省及び農林水産省）の掲載種 定着：定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合：総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除（野外での取り除き、分布拡大の防止等）、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業：産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区 (2011)</th> <th>調査地区 (2021)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td style="text-align: center;">N-1</td> <td style="text-align: center;">淀布下1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td style="text-align: center;">N-14、N-15、N-16、N-17</td> <td style="text-align: center;">淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 外来種指定：外来生物法（特定外来生物）、または、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストに掲載された種 確認場所：「下流河川」、「ダム湖」、「周辺溪流」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、湖岸、溪流に生息する種</p> <p>注4) 確認履歴は、確認場所に着目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p> <p style="text-align: center;">6-259</p>	種名	外来種指定		確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)	外来種指定	確認場所	確認履歴	生息環境	ウシガエル	特定	重点	▽2 □9	□7	池沼などの止水や穏やかな流れの周辺に生息する。口に入る大きさであればほとんどの動物を食べる。昆虫、アメリカザリガニ、他のカエル類、魚類など多くの小動物が捕食の影響を受ける。小型哺乳類や小鳥を襲うこともある。	○	○	○	○	●	確認場所	調査地区 (2011)	調査地区 (2021)	▽：下流河川	N-1	淀布下1	□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4	◇：ダム湖周辺	-	-	○：周辺環境	-	-	△：流入河川	-	-
種名		外来種指定		確認場所・確認履歴			生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																					
	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)	外来種指定	確認場所		確認履歴	生息環境																																																																																								
ウシガエル	特定	重点	▽2 □9	□7	池沼などの止水や穏やかな流れの周辺に生息する。口に入る大きさであればほとんどの動物を食べる。昆虫、アメリカザリガニ、他のカエル類、魚類など多くの小動物が捕食の影響を受ける。小型哺乳類や小鳥を襲うこともある。	○	○	○	○	●																																																																																							
確認場所	調査地区 (2011)	調査地区 (2021)																																																																																															
▽：下流河川	N-1	淀布下1																																																																																															
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4																																																																																															
◇：ダム湖周辺	-	-																																																																																															
○：周辺環境	-	-																																																																																															
△：流入河川	-	-																																																																																															
種名	外来種指定		確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																							
	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)		外来種指定	確認場所	確認履歴	生息環境																																																																																								
ウシガエル	特定	重点	▽2 □9	□7	池沼などの止水や穏やかな流れの周辺に生息する。口に入る大きさであればほとんどの動物を食べる。昆虫、アメリカザリガニ、他のカエル類、魚類など多くの小動物が捕食の影響を受ける。小型哺乳類や小鳥を襲うこともある。	○	○	○	○	●																																																																																							
確認場所	調査地区 (2011)	調査地区 (2021)																																																																																															
▽：下流河川	N-1	淀布下1																																																																																															
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、 淀布湖2、淀布湖4																																																																																															
◇：ダム湖周辺	-	-																																																																																															
○：周辺環境	-	-																																																																																															
△：流入河川	-	-																																																																																															

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）																																																																																																																																	
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書（R4）</p> <p style="text-align: right;">6章 生物</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-65 ダム管理・運用と関わりの深い外来種の選定結果（哺乳類）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種名</th> <th colspan="2">外来種指定</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>外来生物法</th> <th>生態系被害防止</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来種指定</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アライグマ</td> <td style="color: red;">特定</td> <td style="color: red;">緊急</td> <td style="color: red;">▽3 □2 ◇11</td> <td style="color: red;">□1 ◇6 △4</td> <td>流れの緩やかな河川、湖、沼沢地に生息している。巢は木のうろや岩穴、人家や畜舎につく。雑食性で小哺乳類・魚類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類・野菜・果実・穀類等を摂取する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>ハクビシン</td> <td></td> <td style="color: red;">重点</td> <td style="color: red;">▽1</td> <td style="color: red;">◇7 △2</td> <td>市街地から山間部まで、樹上も利用して広く生息する。雑食性で果実や種子を好み、昆虫類、魚類、残飯等も食べる。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 外来種指定 ①「外来生物法」：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年法律第78号）の掲載種 特定：特定外来生物 ②「生態系被害防止」：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年3月 環境省及び農林水産省）の掲載種 定着：定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合：総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除（野外での取り除き、分布拡大の防止等）、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業：産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区（2011）</th> <th>調査地区（2021）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td>N-1</td> <td>淀布下1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td>N-14、N-15、N-16、N-17</td> <td>淀布周2、淀布周3、淀布湖2、淀布湖4</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td>N-11、N-12、N-13</td> <td>淀布周1、淀布周4、淀布周5</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 外来種指定：外来生物法（特定外来生物）、または、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストに掲載された種 確認場所：「下流河川」、「ダム湖」、「周辺山林」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、里山や山林、湖岸に生息する種 注4) 確認履歴は、確認場所で見目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p> <p style="text-align: center;">⑥陸上昆虫類等</p> <p>これまでの調査結果から、布目ダムにおける陸上昆虫類等の外来種は確認されていないため、ダムの管理・運用と関わりの深い外来種は選定しなかった。</p>	種名	外来種指定		確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)	外来種指定	確認場所	確認履歴	生息環境	アライグマ	特定	緊急	▽3 □2 ◇11	□1 ◇6 △4	流れの緩やかな河川、湖、沼沢地に生息している。巢は木のうろや岩穴、人家や畜舎につく。雑食性で小哺乳類・魚類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類・野菜・果実・穀類等を摂取する。	○	○	○	○	●	ハクビシン		重点	▽1	◇7 △2	市街地から山間部まで、樹上も利用して広く生息する。雑食性で果実や種子を好み、昆虫類、魚類、残飯等も食べる。	○	○	○	×	×	確認場所	調査地区（2011）	調査地区（2021）	▽：下流河川	N-1	淀布下1	□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、淀布湖2、淀布湖4	◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5	○：周辺環境	—	—	△：流入河川	—	—	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書（R4）</p> <p style="text-align: right;">6章 生物</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-65 ダムと関わりの深い外来種の選定結果（哺乳類）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種名</th> <th colspan="2">外来種指定</th> <th colspan="2">確認場所・確認履歴</th> <th rowspan="2">生態的特徴</th> <th colspan="4">選定条件</th> <th rowspan="2">選定結果</th> </tr> <tr> <th>外来生物法</th> <th>生態系被害防止</th> <th>H23 (2011)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>外来種指定</th> <th>確認場所</th> <th>確認履歴</th> <th>生息環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アライグマ</td> <td style="color: red;">特定</td> <td style="color: red;">緊急</td> <td style="color: red;">▽3 □2 ◇11</td> <td style="color: red;">□1 ◇6 △4</td> <td>流れの緩やかな河川、湖、沼沢地に生息している。巢は木のうろや岩穴、人家や畜舎につく。雑食性で小哺乳類・魚類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類・野菜・果実・穀類等を摂取する。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>ハクビシン</td> <td></td> <td style="color: red;">重点</td> <td style="color: red;">▽1</td> <td style="color: red;">◇7 △2</td> <td>市街地から山間部まで、樹上も利用して広く生息する。雑食性で果実や種子を好み、昆虫類、魚類、残飯等も食べる。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ノネコ</td> <td></td> <td style="color: red;">緊急</td> <td></td> <td style="color: red;">◇2</td> <td>都市近郊に多いが、森林にも生息する。調査地区やダム周辺には集落が点在するため、飼育放棄された個体の確認の可能性は高い。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 外来種指定 ①「外来生物法」：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年法律第78号）の掲載種 特定：特定外来生物 ②「生態系被害防止」：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年3月 環境省及び農林水産省）の掲載種 定着：定着予防外来種 国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。 総合：総合対策外来種 国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除（野外での取り除き、分布拡大の防止等）、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。 産業：産業管理外来種 産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。</p> <p>注2) 確認場所と調査地区の関係を下表に示す ▽：下流河川、□：ダム湖岸、◇：ダム湖周辺、○：周辺環境（沢筋など）、△：流入河川</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認場所</th> <th>調査地区（2011）</th> <th>調査地区（2021）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽：下流河川</td> <td>N-1</td> <td>淀布下1</td> </tr> <tr> <td>□：ダム湖岸</td> <td>N-14、N-15、N-16、N-17</td> <td>淀布周2、淀布周3、淀布湖2、淀布湖4</td> </tr> <tr> <td>◇：ダム湖周辺</td> <td>N-11、N-12、N-13</td> <td>淀布周1、淀布周4、淀布周5</td> </tr> <tr> <td>○：周辺環境</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>△：流入河川</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3) 選定条件（赤字は選定条件適合部分） 外来種指定：外来生物法（特定外来生物）、または、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストに掲載された種 確認場所：「下流河川」、「ダム湖」、「周辺山林」 確認履歴：今回（直近）または前回の調査で確認されている 生息環境：河川、里山や山林、湖岸に生息する種 注4) 確認履歴は、確認場所で見目した場所のみを対象に整理した 注5) 表中の個体数は確認個体数（実数）の合計値を示す</p> <p style="text-align: center;">⑥陸上昆虫類等</p> <p>これまでの調査結果から、布目ダムにおける陸上昆虫類等の外来種は確認されていないため、ダムと関わりの深い外来種は選定しなかった。</p>	種名	外来種指定		確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)	外来種指定	確認場所	確認履歴	生息環境	アライグマ	特定	緊急	▽3 □2 ◇11	□1 ◇6 △4	流れの緩やかな河川、湖、沼沢地に生息している。巢は木のうろや岩穴、人家や畜舎につく。雑食性で小哺乳類・魚類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類・野菜・果実・穀類等を摂取する。	○	○	○	○	●	ハクビシン		重点	▽1	◇7 △2	市街地から山間部まで、樹上も利用して広く生息する。雑食性で果実や種子を好み、昆虫類、魚類、残飯等も食べる。	○	○	○	×	×	ノネコ		緊急		◇2	都市近郊に多いが、森林にも生息する。調査地区やダム周辺には集落が点在するため、飼育放棄された個体の確認の可能性は高い。	○	×	○	×	×	確認場所	調査地区（2011）	調査地区（2021）	▽：下流河川	N-1	淀布下1	□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、淀布湖2、淀布湖4	◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5	○：周辺環境	—	—	△：流入河川	—	—
種名		外来種指定		確認場所・確認履歴			生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																																																						
	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)	外来種指定	確認場所		確認履歴	生息環境																																																																																																																									
アライグマ	特定	緊急	▽3 □2 ◇11	□1 ◇6 △4	流れの緩やかな河川、湖、沼沢地に生息している。巢は木のうろや岩穴、人家や畜舎につく。雑食性で小哺乳類・魚類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類・野菜・果実・穀類等を摂取する。	○	○	○	○	●																																																																																																																								
ハクビシン		重点	▽1	◇7 △2	市街地から山間部まで、樹上も利用して広く生息する。雑食性で果実や種子を好み、昆虫類、魚類、残飯等も食べる。	○	○	○	×	×																																																																																																																								
確認場所	調査地区（2011）	調査地区（2021）																																																																																																																																
▽：下流河川	N-1	淀布下1																																																																																																																																
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、淀布湖2、淀布湖4																																																																																																																																
◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5																																																																																																																																
○：周辺環境	—	—																																																																																																																																
△：流入河川	—	—																																																																																																																																
種名	外来種指定		確認場所・確認履歴		生態的特徴	選定条件				選定結果																																																																																																																								
	外来生物法	生態系被害防止	H23 (2011)	R3 (2021)		外来種指定	確認場所	確認履歴	生息環境																																																																																																																									
アライグマ	特定	緊急	▽3 □2 ◇11	□1 ◇6 △4	流れの緩やかな河川、湖、沼沢地に生息している。巢は木のうろや岩穴、人家や畜舎につく。雑食性で小哺乳類・魚類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類・野菜・果実・穀類等を摂取する。	○	○	○	○	●																																																																																																																								
ハクビシン		重点	▽1	◇7 △2	市街地から山間部まで、樹上も利用して広く生息する。雑食性で果実や種子を好み、昆虫類、魚類、残飯等も食べる。	○	○	○	×	×																																																																																																																								
ノネコ		緊急		◇2	都市近郊に多いが、森林にも生息する。調査地区やダム周辺には集落が点在するため、飼育放棄された個体の確認の可能性は高い。	○	×	○	×	×																																																																																																																								
確認場所	調査地区（2011）	調査地区（2021）																																																																																																																																
▽：下流河川	N-1	淀布下1																																																																																																																																
□：ダム湖岸	N-14、N-15、N-16、N-17	淀布周2、淀布周3、淀布湖2、淀布湖4																																																																																																																																
◇：ダム湖周辺	N-11、N-12、N-13	淀布周1、淀布周4、淀布周5																																																																																																																																
○：周辺環境	—	—																																																																																																																																
△：流入河川	—	—																																																																																																																																

布目ダム定期報告書（案）修正前後対照表

修正後（委員会後）	修正前（委員会時）																																																																																																																																																																																																																																																						
<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>⑦ 選定結果まとめ</p> <p>これまでの河川水辺の国勢調査で確認された外来種の種数とダムの管理・運用と関わりの深い外来種の選定結果を表 6.3-66、表 6.3-67 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-66 ダム管理・運用と関わりの深い外来種の選定結果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>確認された外来種数</th> <th>選定した外来種数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>魚類</td><td>5種</td><td>5種</td></tr> <tr><td>底生動物</td><td>4種</td><td>3種</td></tr> <tr><td>植物</td><td>47種</td><td>11種</td></tr> <tr><td>鳥類</td><td>0種</td><td>0種</td></tr> <tr><td>両生類</td><td>1種</td><td>1種</td></tr> <tr><td>爬虫類</td><td>1種</td><td>1種</td></tr> <tr><td>哺乳類</td><td>2種</td><td>1種</td></tr> <tr><td>陸上昆虫類等</td><td>0種</td><td>0種</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 6.3-67 ダム管理・運用と関わりの深い外来種の一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>外来生物法</th> <th>生態系被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="4">魚類</td><td>アメリカナマズ科</td><td>チャネルキャットフィッシュ</td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td>サケ科</td><td>ニジマス</td><td></td><td>産業</td></tr> <tr><td rowspan="2">サンフィッシュ科</td><td>ブルーギル</td><td></td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td>オオクチバス</td><td></td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>コクチバス</td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td rowspan="3">底生動物</td><td>シジミ科</td><td>タイワンシジミ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>マミズヨコエビ科</td><td>フロリダマミズヨコエビ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>アメリカザリガニ科</td><td>アメリカザリガニ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td rowspan="11">植物</td><td rowspan="3">イネ科</td><td>カモガヤ</td><td></td><td>産業</td></tr> <tr><td>シナダレスズメガヤ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオクサキビ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td rowspan="2">マメ科</td><td>イタチハギ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>ハリエンジュ</td><td></td><td>産業</td></tr> <tr><td>ウリ科</td><td>アレチウリ</td><td>特定</td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオバコ科</td><td>オオカワヂシャ</td><td>特定</td><td>総合</td></tr> <tr><td rowspan="5">キク科</td><td>オオバクサ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオキンケイギク</td><td>特定</td><td>総合</td></tr> <tr><td>セイタカアワダチソウ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオナモミ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>ウシガエル</td><td></td><td>特定</td><td>重点</td></tr> <tr><td>爬虫類</td><td>ヌマガメ科</td><td>ミシシippアカミミガメ</td><td></td><td>緊急</td></tr> <tr><td>哺乳類</td><td>アライグマ科</td><td>アライグマ</td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> </tbody> </table>	項目	確認された外来種数	選定した外来種数	魚類	5種	5種	底生動物	4種	3種	植物	47種	11種	鳥類	0種	0種	両生類	1種	1種	爬虫類	1種	1種	哺乳類	2種	1種	陸上昆虫類等	0種	0種	項目	科名	和名	外来種選定基準		外来生物法	生態系被害防止	魚類	アメリカナマズ科	チャネルキャットフィッシュ	特定	緊急	サケ科	ニジマス		産業	サンフィッシュ科	ブルーギル		特定	緊急	オオクチバス		特定	緊急			コクチバス	特定	緊急	底生動物	シジミ科	タイワンシジミ		総合	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ		総合	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		総合	植物	イネ科	カモガヤ		産業	シナダレスズメガヤ		総合	オオクサキビ		総合	マメ科	イタチハギ		総合	ハリエンジュ		産業	ウリ科	アレチウリ	特定	総合	オオバコ科	オオカワヂシャ	特定	総合	キク科	オオバクサ		総合	オオキンケイギク	特定	総合	セイタカアワダチソウ		総合	オオナモミ		総合	ウシガエル		特定	重点	爬虫類	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ		緊急	哺乳類	アライグマ科	アライグマ	特定	緊急	<p><本編（生物）></p> <p>布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物</p> <p>⑦ 選定結果まとめ</p> <p>これまでの河川水辺の国勢調査で確認された外来種の種数とダムと関わりの深い外来種の選定結果を表 6.3-66、表 6.3-67 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 6.3-66 ダムと関わりの深い外来種の選定結果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>確認された外来種数</th> <th>選定した外来種数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>魚類</td><td>5種</td><td>5種</td></tr> <tr><td>底生動物</td><td>4種</td><td>3種</td></tr> <tr><td>植物</td><td>47種</td><td>11種</td></tr> <tr><td>鳥類</td><td>0種</td><td>0種</td></tr> <tr><td>両生類</td><td>1種</td><td>1種</td></tr> <tr><td>爬虫類</td><td>1種</td><td>1種</td></tr> <tr><td>哺乳類</td><td>3種</td><td>1種</td></tr> <tr><td>陸上昆虫類等</td><td>0種</td><td>0種</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 6.3-67 ダムと関わりの深い外来種の一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名</th> <th colspan="2">外来種選定基準</th> </tr> <tr> <th>外来生物法</th> <th>生態系被害防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="4">魚類</td><td>アメリカナマズ科</td><td>チャネルキャットフィッシュ</td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td>サケ科</td><td>ニジマス</td><td></td><td>産業</td></tr> <tr><td rowspan="2">サンフィッシュ科</td><td>ブルーギル</td><td></td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td>オオクチバス</td><td></td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>コクチバス</td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> <tr><td rowspan="3">底生動物</td><td>シジミ科</td><td>タイワンシジミ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>マミズヨコエビ科</td><td>フロリダマミズヨコエビ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>アメリカザリガニ科</td><td>アメリカザリガニ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td rowspan="11">植物</td><td rowspan="3">イネ科</td><td>カモガヤ</td><td></td><td>産業</td></tr> <tr><td>シナダレスズメガヤ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオクサキビ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td rowspan="2">マメ科</td><td>イタチハギ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>ハリエンジュ</td><td></td><td>産業</td></tr> <tr><td>ウリ科</td><td>アレチウリ</td><td>特定</td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオバコ科</td><td>オオカワヂシャ</td><td>特定</td><td>総合</td></tr> <tr><td rowspan="5">キク科</td><td>オオバクサ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオキンケイギク</td><td>特定</td><td>総合</td></tr> <tr><td>セイタカアワダチソウ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>オオナモミ</td><td></td><td>総合</td></tr> <tr><td>ウシガエル</td><td></td><td>特定</td><td>重点</td></tr> <tr><td>爬虫類</td><td>ヌマガメ科</td><td>ミシシippアカミミガメ</td><td></td><td>緊急</td></tr> <tr><td>哺乳類</td><td>アライグマ科</td><td>アライグマ</td><td>特定</td><td>緊急</td></tr> </tbody> </table>	項目	確認された外来種数	選定した外来種数	魚類	5種	5種	底生動物	4種	3種	植物	47種	11種	鳥類	0種	0種	両生類	1種	1種	爬虫類	1種	1種	哺乳類	3種	1種	陸上昆虫類等	0種	0種	項目	科名	和名	外来種選定基準		外来生物法	生態系被害防止	魚類	アメリカナマズ科	チャネルキャットフィッシュ	特定	緊急	サケ科	ニジマス		産業	サンフィッシュ科	ブルーギル		特定	緊急	オオクチバス		特定	緊急			コクチバス	特定	緊急	底生動物	シジミ科	タイワンシジミ		総合	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ		総合	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		総合	植物	イネ科	カモガヤ		産業	シナダレスズメガヤ		総合	オオクサキビ		総合	マメ科	イタチハギ		総合	ハリエンジュ		産業	ウリ科	アレチウリ	特定	総合	オオバコ科	オオカワヂシャ	特定	総合	キク科	オオバクサ		総合	オオキンケイギク	特定	総合	セイタカアワダチソウ		総合	オオナモミ		総合	ウシガエル		特定	重点	爬虫類	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ		緊急	哺乳類	アライグマ科	アライグマ	特定	緊急
項目	確認された外来種数	選定した外来種数																																																																																																																																																																																																																																																					
魚類	5種	5種																																																																																																																																																																																																																																																					
底生動物	4種	3種																																																																																																																																																																																																																																																					
植物	47種	11種																																																																																																																																																																																																																																																					
鳥類	0種	0種																																																																																																																																																																																																																																																					
両生類	1種	1種																																																																																																																																																																																																																																																					
爬虫類	1種	1種																																																																																																																																																																																																																																																					
哺乳類	2種	1種																																																																																																																																																																																																																																																					
陸上昆虫類等	0種	0種																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	科名	和名	外来種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																				
			外来生物法	生態系被害防止																																																																																																																																																																																																																																																			
魚類	アメリカナマズ科	チャネルキャットフィッシュ	特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
	サケ科	ニジマス		産業																																																																																																																																																																																																																																																			
	サンフィッシュ科	ブルーギル		特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																		
		オオクチバス		特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																		
		コクチバス	特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
底生動物	シジミ科	タイワンシジミ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
植物	イネ科	カモガヤ		産業																																																																																																																																																																																																																																																			
		シナダレスズメガヤ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		オオクサキビ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	マメ科	イタチハギ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		ハリエンジュ		産業																																																																																																																																																																																																																																																			
	ウリ科	アレチウリ	特定	総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	オオバコ科	オオカワヂシャ	特定	総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	キク科	オオバクサ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		オオキンケイギク	特定	総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		セイタカアワダチソウ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		オオナモミ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
ウシガエル			特定	重点																																																																																																																																																																																																																																																			
爬虫類	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ		緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
哺乳類	アライグマ科	アライグマ	特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
項目	確認された外来種数	選定した外来種数																																																																																																																																																																																																																																																					
魚類	5種	5種																																																																																																																																																																																																																																																					
底生動物	4種	3種																																																																																																																																																																																																																																																					
植物	47種	11種																																																																																																																																																																																																																																																					
鳥類	0種	0種																																																																																																																																																																																																																																																					
両生類	1種	1種																																																																																																																																																																																																																																																					
爬虫類	1種	1種																																																																																																																																																																																																																																																					
哺乳類	3種	1種																																																																																																																																																																																																																																																					
陸上昆虫類等	0種	0種																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	科名	和名	外来種選定基準																																																																																																																																																																																																																																																				
			外来生物法	生態系被害防止																																																																																																																																																																																																																																																			
魚類	アメリカナマズ科	チャネルキャットフィッシュ	特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
	サケ科	ニジマス		産業																																																																																																																																																																																																																																																			
	サンフィッシュ科	ブルーギル		特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																		
		オオクチバス		特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																		
		コクチバス	特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
底生動物	シジミ科	タイワンシジミ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
植物	イネ科	カモガヤ		産業																																																																																																																																																																																																																																																			
		シナダレスズメガヤ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		オオクサキビ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	マメ科	イタチハギ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		ハリエンジュ		産業																																																																																																																																																																																																																																																			
	ウリ科	アレチウリ	特定	総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	オオバコ科	オオカワヂシャ	特定	総合																																																																																																																																																																																																																																																			
	キク科	オオバクサ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		オオキンケイギク	特定	総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		セイタカアワダチソウ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
		オオナモミ		総合																																																																																																																																																																																																																																																			
ウシガエル			特定	重点																																																																																																																																																																																																																																																			
爬虫類	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ		緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
哺乳類	アライグマ科	アライグマ	特定	緊急																																																																																																																																																																																																																																																			
6-262	6-262																																																																																																																																																																																																																																																						

修正後（委員会後）					修正前（委員会時）							
＜本編（生物）＞					＜本編（生物）＞							
布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物					布目ダム定期報告書(R4) 6章 生物							
表 6.4-1(6) 生物の生息・生育状況の変化の評価(両生類・爬虫類・哺乳類)					表 6.4-1(6) 生物の生息・生育状況の変化の評価(両生類・爬虫類・哺乳類)							
分析項目	生物の状況	ダムとの関連の検証結果 ^{注)}	評価		課題及び今後の方針	分析項目	生物の状況	ダムとの関連の検証結果 ^{注)}	評価		課題及び今後の方針	
			視点	評価結果					視点	評価結果		
両生類・爬虫類・哺乳類	a. 両生類・爬虫類・哺乳類相の長期的な確認状況	・両生類のニホンヒキガエル、タゴガエル等、爬虫類のクサガメ、ニホントカゲ等、哺乳類のノウサギ、ニホンリス等が継続して確認されている。 ・外来種としてはウシガエル、ミシシッピアカミミガメ、アライグマ、ハクビシンが確認された。	一：確認種数は増加傾向にあり、両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況は概ね安定している。	・ダム湖周辺の生態系を保全する。	・確認種の長期的な経年変化で評価すると、現状では問題ないものと考えられるが、外来種の動向に注意が必要である。	a. 両生類・爬虫類・哺乳類相の長期的な確認状況	・両生類のニホンヒキガエル、タゴガエル等、爬虫類のクサガメ、ニホントカゲ等、哺乳類のノウサギ、ニホンリス等が継続して確認されている。 ・外来種としてはウシガエル、ミシシッピアカミミガメ、アライグマ、ハクビシン、ノネコが確認された。	一：確認種数は増加傾向にあり、両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況は概ね安定している。	・ダム湖周辺の生態系を保全する。	・確認種の長期的な経年変化で評価すると、現状では問題ないものと考えられるが、外来種の動向に注意が必要である。	・今後も継続して調査を実施し、ダム湖周辺の両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況を把握していく。	
	b. ダム湖周辺・ダム湖岸・下流河川における両生類の経年変化	・「源流の両生類」の種はタゴガエルが確認され、確認数は概ね変化ない。 ・「細流の両生類」はニホンヒキガエル、ヤマアカガエルと多種が確認された。 ・「氾濫原の両生類」の種としてトノサマガエルとウシガエルが確認された。	一：源流や細流、氾濫原に生息する種は維持されている。また、外来種のウシガエルは、ダム湖岸の生態系への影響が懸念される。	・ダム湖周辺の生態系を保全する。	・両生類の生息状況はダム湖周辺山地の保水性に関連が深い、現状では問題ないと考えられるが、外来種の動向に注意が必要である。	・今後も継続して調査を実施し、ダム湖周辺の両生類の生息状況を把握していく。	b. ダム湖周辺・ダム湖岸・下流河川における両生類の経年変化	・「源流の両生類」の種はタゴガエルが確認され、確認数は概ね変化ない。 ・「細流の両生類」はニホンヒキガエル、ヤマアカガエルと多種が確認された。 ・「氾濫原の両生類」の種としてトノサマガエルとウシガエルが確認された。	一：源流や細流、氾濫原に生息する種は維持されている。また、外来種のウシガエルは、ダム湖岸の生態系への影響が懸念される。	・ダム湖周辺の生態系を保全する。	・両生類の生息状況はダム湖周辺山地の保水性に関連が深い、現状では問題ないと考えられるが、外来種の動向に注意が必要である。	・今後も継続して調査を実施し、ダム湖周辺の両生類の生息状況を把握していく。
	c. ダム湖岸・ダム湖周辺における爬虫類・哺乳類の経年変化	・「水域や水辺」、「湿潤な土壌」、「林床や草地」、「樹上や樹洞」、「空間や家屋」の確認種数は概ね変化がない。 ・一方、イノシシやニホンジカ、ミシシッピアカミミガメの確認数は増加傾向にある。 ・また、平成23年度に新規確認されたアライグマは、直近調査でも確認されている。	△：イノシシ、ニホンジカの確認数が増加傾向にあり、林床植生への影響に注視が必要である。また、ミシシッピアカミミガメやアライグマが継続確認されており、ダム湖岸の生態系への影響が懸念される。	・ダム湖周辺の生態系を保全する。	・爬虫類・哺乳類は生態系の上位に位置するため生態系全体への影響が大きく、今後の動向に注意が必要であると考えられる。	・今後も継続して調査を実施し、ダム湖周辺の爬虫類・哺乳類の生息状況を把握していく。	c. ダム湖岸・ダム湖周辺における爬虫類・哺乳類の経年変化	・「水域や水辺」、「湿潤な土壌」、「林床や草地」、「樹上や樹洞」、「空間や家屋」の確認種数は概ね変化がない。 ・一方、イノシシやニホンジカ、ミシシッピアカミミガメの確認数は増加傾向にある。 ・また、平成23年度に新規確認されたアライグマは、直近調査でも確認されている。	△：イノシシ、ニホンジカの確認数が増加傾向にあり、林床植生への影響に注視が必要である。また、ミシシッピアカミミガメやアライグマが継続確認されており、ダム湖岸の生態系への影響が懸念される。	・ダム湖周辺の生態系を保全する。	・爬虫類・哺乳類は生態系の上位に位置するため生態系全体への影響が大きく、今後の動向に注意が必要であると考えられる。	・今後も継続して調査を実施し、ダム湖周辺の爬虫類・哺乳類の生息状況を把握していく。

注) 検証結果

- ：生態系等の変化がダムの存在・供用によると考えられる場合
- ：生態系等の変化がダムの存在・供用以外によると考えられる場合
- △：生態系等の変化に対する影響要因が不明であった場合
- 一：生態系等の状況に大きな変化がみられなかった場合
- ？：生態系等の変化が不明であった場合

注) 検証結果

- ：生態系等の変化がダムの存在・供用によると考えられる場合
- ：生態系等の変化がダムの存在・供用以外によると考えられる場合
- △：生態系等の変化に対する影響要因が不明であった場合
- 一：生態系等の状況に大きな変化がみられなかった場合
- ？：生態系等の変化が不明であった場合